

## 第9回

# 長崎県の不動産市況動向(DI)に 関するアンケート調査

基準日：令和5年10月1日

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会  
公益社団法人 全日本不動産協会長崎県本部  
公益社団法人 長崎県不動産鑑定士協会

## はじめに

このたび、私共不動産関連3団体は、公益活動の一環として「長崎県不動産市況DI調査」を実施致しました。

当該調査は不動産市場の最前線で業務を行っている不動産業者にアンケートを行い価格・賃料・取引件数・開発案件数・投資利回り・空室率等の動向を調査・分析し、長崎県における不動産市場から見た景況動向を県内外へ広く発信することを目的としております。

当該調査は国土交通省の地価公示、都道府県の地価調査等の公的土地価格指標を補完する形で、全国のいくつかの都道府県不動産鑑定士協会等で調査・公表されており、昨今は公的土地価格にはない先行指標を表すものとして市場で重要視されています。また、九州・沖縄各県で統一指標を作成するために当該調査の成果が活用されます。

地方創生や一億総活躍が叫ばれる社会において、長崎県の不動産市場の現状及び先行きを示す当該調査の結果が、皆様の今後の活動のお役に立てることを期待しております。

最後に、本アンケートにご協力頂きました不動産業者の皆様に厚く御礼申し上げます。

公益社団法人	長崎県宅地建物取引業協会
	会 長 三 上 浩 二
公益社団法人	全日本不動産協会長崎県本部
	本 部 長 田 川 良 智
公益社団法人	長崎県不動産鑑定士協会
	会 長 宮 崎 英 樹

令和6年3月26日

## もくじ

I. 調査の概要	1
1. DIについて	1
2. 調査基準日	1
3. 調査方法	1
4. 地域区分	1
5. 年間投資利回り（問6）及び空室率（問7）について	2
6. 表の見方	2
7. 連絡・お問い合わせ先	3
II. 調査結果	4
1. 調査結果の概要	4
(1) 総括（長崎県全体）	4
(2) 地域別	5
2. 調査結果の詳細	7
問1. 事業所・支店の主な営業地域（取扱いが特に多い地域）	7
問2. 現在（令和5年10月1日）の価格及び賃料の動向の実感	8
問3. 1年後（令和6年10月1日）の価格及び賃料の動向の予測	14
問4. 現在（令和5年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数の実感	20
問5. 1年後（令和6年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数の予測	23
問6. 築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り	26
問7. 築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率	27
今回ご協力頂いた事業所一覧	28
自由意見欄	30
《附属資料》アンケート調査票	

## I. 調査の概要

### 1. DIについて

DI (Diffusion Index) は市況や景気動向について定性的な意見を集計し、上昇・下降または拡大・縮小の傾向を示す指数です。景気動向指数とも言われ、不動産市場における景況感を客観的数値で表すことが可能となります。DI がプラスであれば市況改善、DI がマイナスであれば市況悪化を示すといわれています。

本調査では不動産市場に関する現在の「実感」と将来「予測」について4個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数に基づき、次式にて算出しました。

$$DI = \frac{\text{「上昇 (増加)」回答数} - \text{「下落 (減少)」回答数}}{\text{「不明」を除く総回答数}} \times 100$$

(「横ばい」回答の場合は上記の分母である総回答数には含まれるが、分子に含まない。)

#### 【計算例】

上昇の回答数 100

横ばいの回答数 60

下落の回答数 30

不明の回答数 10

$$DI = \frac{\text{「上昇」回答数}(100) - \text{「下落」回答数}(30)}{\text{「不明」を除く総回答数}(100+60+30)} \times 100 \approx 36.8$$

### 2. 調査基準日

令和5年10月1日

### 3. 調査方法

- (1) 調査対象：長崎県に本社または営業拠点を有する不動産業者 1,142社  
(長崎県宅地建物取引業協会会員及び全日本不動産協会長崎県本部会員)
- (2) 調査方法：郵送およびファクシミリによる調査票の送付
- (3) 回答方法：ファクシミリ
- (4) 回答率：27.1% (有効回答数 310)

### 4. 地域区分

長崎県を下記の6つの地域に区分し、各事業者の主な営業地域(最も取扱件数の多い地域)ごとに集計しました。

- ① 長崎地区(長崎市・長与町・時津町)
- ② 佐世保・県北・西海・東彼杵郡地区(佐世保市・平戸市・松浦市・西海市・東彼杵町・川棚町・波佐見町・小値賀町・佐々町)

- ③ 諫早地区（諫早市）
- ④ 大村地区（大村市）
- ⑤ 島原地区（島原市・雲仙市・南島原市）
- ⑥ 壱岐・対馬・五島地区（対馬市・壱岐市・五島市・新上五島町）

## 5. 年間投資利回り（問6）及び空室率（問7）について

### (1) 年間投資利回り

不動産投資においては年間の全室入居を前提とした賃料収入総額から運営に係る各種の経費や空室損失を差し引いて得られる純利益を不動産の購入価格で除した投資利回りをもって投資の指標とすることが一般的です。

$$\begin{aligned} \text{年間賃料収入} - \text{修繕費} \cdot \text{維持管理費} \cdot \text{税金} \cdot \text{保険料} \cdot \text{空室損失等} &= \text{純利益} \\ \text{純利益} \div \text{不動産の購入価格} &= \text{年間投資利回り（純利回り）} \end{aligned}$$

上記の年間投資利回り（純利回り）は各不動産の種別・立地条件・築年・維持管理の程度等によって千差万別であり、どのような不動産を想定するかによって水準が大きく異なります。またその算出には精緻な作業が必要となります。

本調査では県内の不動産市場において最も一般的と思われる投資利回りを把握するため、投資用のアパート又はマンションのうち築10年程度で立地条件が地域の標準的なレベルを想定し、各種の経費や空室損失を差し引く前のいわゆる粗利の年間投資利回りを調査対象としました。なお、一般的に投資リスクが低いほど利回りは低くなります。

$$\underline{\text{年間賃料収入} \div \text{不動産の購入価格} = \text{年間投資利回り（粗利回り）}}$$

### (2) 空室率

空室率は全貸室のうちの空室の割合をいいます。投資利回り同様、空室率も不動産ごとの種別・立地条件・築年・維持管理の程度等によって水準が大きく異なるため、本調査では投資用のアパートまたはマンションのうち築10年程度で立地条件が地域の標準的なレベルを想定した空室率を調査対象としました。

$$\underline{\text{空室} \div \text{全貸室} = \text{空室率}}$$

## 6. 表の見方

### (1) 問2～問5

- ① グラフは、「上昇または増加」、「横ばい」、「下落または減少」、「不明」の各構成割合を表します。（注1）
- ② 集計表は、「回答数」、「DI値」を表します。（注2）

注1）回答総数が少ない場合は、極端な構成割合となることがあります。また、見やすさを考慮し整数で表示していますので、合計値が100%にならない場合もあります。

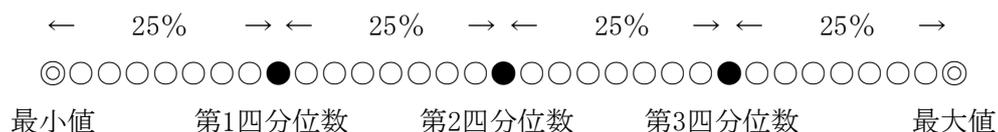
注2）DI値は回答総数が多いほど精度が向上します。グラフと同様に回答総数が少な

い場合においては、極端な数値となることがあります。

(2)問6・問7

回答値の散布状況を四分位数で表しています。四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値であり、小さい方から順に第1四分位数（第2四分位数より下のゾーンにおける中央値）、第2四分位数（全データにおける中央値）、第3四分位数（第2四分位数より上のゾーンにおける中央値）と定義されます。

【イメージ図】 ○◎●は各データ



7. 連絡・お問い合わせ先

引用、転載等の場合は下記への事前のご連絡をお願い致します。

連絡先
公益社団法人 長崎県不動産鑑定士協会            095-822-3471

## II. 調査結果

### 1. 調査結果の概要

#### (1) 長崎県全体

		前回DI値	今回DI値	増減※	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	37.6	38.5	0.9	依然上昇を実感
	予測	24.6	21.8	-16.7	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-39.3	-38.6	0.7	依然下落を実感
	予測	-43.4	-45.4	-6.8	下落感の強まりを予測
商業地価格	実感	33.3	41.9	8.6	上昇感の高まりを実感
	予測	16.8	18.9	-23.0	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	32.1	33.5	1.4	依然上昇を実感
	予測	9.2	4.0	-29.5	上昇感に落ち着きを予測
住宅賃料	実感	-8.8	2.0	10.8	下落から転じて上昇を実感
	予測	-10.6	2.8	0.8	上昇感の高まりを予測
店舗・事務所賃料	実感	-30.1	-24.6	5.5	下落感の弱まりを実感
	予測	-28.6	-17.0	7.6	下落感の弱まりを予測

※実感については今回DI値と前回DI値の差、予測については今回予測DI値と今回実感DI値の差

#### 【不動産市場レポート】

住宅地の平坦地価格は、昨年に続いて高水準の上昇を実感。予測においても上昇が下落を上回っているが、建築費高騰、金利上昇等の先行き不透明感から上昇感には落ち着きが見られなかった。一方、斜面地価格は実感、予測ともに下落が続いている。

地域別に見ると、実感・予測ともに大村地区の上昇感が強い。大村地区は以前から上昇傾向が続いているが、西九州新幹線の開業で新駅（新大村駅）を中心により一層上昇感が強まった印象である。諫早地区も好調で、長崎地区と同程度の上昇感を示している。一方で、島原半島や離島地域においては引き続き下落感が強い。斜面地価格は大村地区を除く全ての地域で下落が実感されており、今後も依然として下落傾向が続くと予測される結果となった。

商業地では、実感値が昨年以上に高い上昇感を示した。予測においても上昇が下落を上回る結果となったが、先行き不透明感から控えめの上昇予測となった。

長崎地区、大村地区、諫早地区の上昇感が強いが、佐世保・県北地区においても引き続き上昇感がある。島原半島や離島地域においては依然として下落が実感、予測される結果となった。

中古マンションは、島原半島、離島地域を除くと全体的に上昇感がある。予測においては、全体的に上昇感に落ち着きが見られ、長崎地区では下落予想に転じる結果となった。

賃料については、住宅系・商業系ともに大村地区で高い上昇実感・予測が見られる。諫早地区においても上昇傾向が伺えるが、その他の地区では住宅系・商業系ともに厳しい状況が続いている。

#### 〔総括〕

コロナ禍が明け、全体的に上昇感が見られるが（島原半島、離島地域以外）、特に大村地区の勢いが顕著である。

## (2) 地区別

## ①長崎地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	45.0	41.7	-3.3	依然上昇を実感
	予測	24.6	25.9	-15.8	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-63.6	-67.0	-3.4	依然下落を実感
	予測	-66.4	-69.6	-2.6	依然下落を予測
商業地価格	実感	57.5	60.7	3.2	依然上昇を実感
	予測	28.7	24.8	-35.9	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	29.7	27.0	-2.7	上昇感に落ち着きを実感
	予測	-1.6	-10.6	-37.6	上昇から転じて下落を予測
住宅賃料	実感	-18.5	-11.6	6.9	下落感の弱まりを実感
	予測	-23.1	-9.5	2.1	下落感の弱まりを予測
店舗・事務所賃料	実感	-44.7	-49.4	-4.7	依然下落を実感
	予測	-46.0	-37.5	11.9	下落感の弱まりを予測

## ②佐世保・県北・西海・東彼杵郡地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	33.8	26.1	-7.7	上昇感に落ち着きを実感
	予測	26.2	10.1	-16.0	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-31.0	-36.4	-5.4	下落感の強まりを実感
	予測	-38.3	-44.8	-8.4	下落感の強まりを予測
商業地価格	実感	10.6	24.6	14.0	上昇感の高まりを実感
	予測	4.1	3.3	-21.3	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	51.1	40.4	-10.7	上昇感に落ち着きを実感
	予測	19.6	5.1	-35.3	上昇感に落ち着きを予測
住宅賃料	実感	-5.2	0.0	5.2	下落から転じて横ばいを実感
	予測	6.9	1.5	1.5	横ばいから転じて上昇を予測
店舗・事務所賃料	実感	-20.4	-20.3	0.1	依然下落を実感
	予測	-14.5	-15.0	5.3	下落感の弱まりを予測

## ③諫早地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	40.0	47.8	7.8	上昇感の高まりを実感
	予測	37.1	41.3	-6.5	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-18.8	-5.3	13.5	下落感の弱まりを実感
	予測	-8.8	-15.8	-10.5	下落感の強まりを予測
商業地価格	実感	37.9	52.8	14.9	上昇感の高まりを実感
	予測	25.0	44.4	-8.4	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	17.4	25.8	8.4	上昇感の高まりを実感
	予測	14.3	11.4	-14.4	上昇感に落ち着きを予測
住宅賃料	実感	3.2	20.6	17.4	上昇感の高まりを実感
	予測	0.0	22.2	1.6	依然上昇を予測
店舗・事務所賃料	実感	-12.9	0.0	12.9	下落から転じて横ばいを実感
	予測	-9.7	14.3	14.3	横ばいから転じて上昇を予測

## ④大村地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	78.9	90.9	12.0	上昇感の高まりを実感
	予測	58.3	66.7	-24.2	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	30.3	25.0	-5.3	上昇感に落ち着きを実感
	予測	12.5	6.7	-18.3	上昇感に落ち着きを予測
商業地価格	実感	56.7	78.3	21.6	上昇感の高まりを実感
	予測	42.4	60.0	-18.3	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	47.8	71.4	23.6	上昇感の高まりを実感
	予測	46.4	56.5	-14.9	上昇感に落ち着きを予測
住宅賃料	実感	12.5	37.0	24.5	上昇感の高まりを実感
	予測	6.3	34.6	-2.4	依然上昇を予測
店舗・事務所賃料	実感	6.3	36.4	30.1	上昇感の高まりを実感
	予測	13.3	30.4	-6.0	上昇感に落ち着きを予測

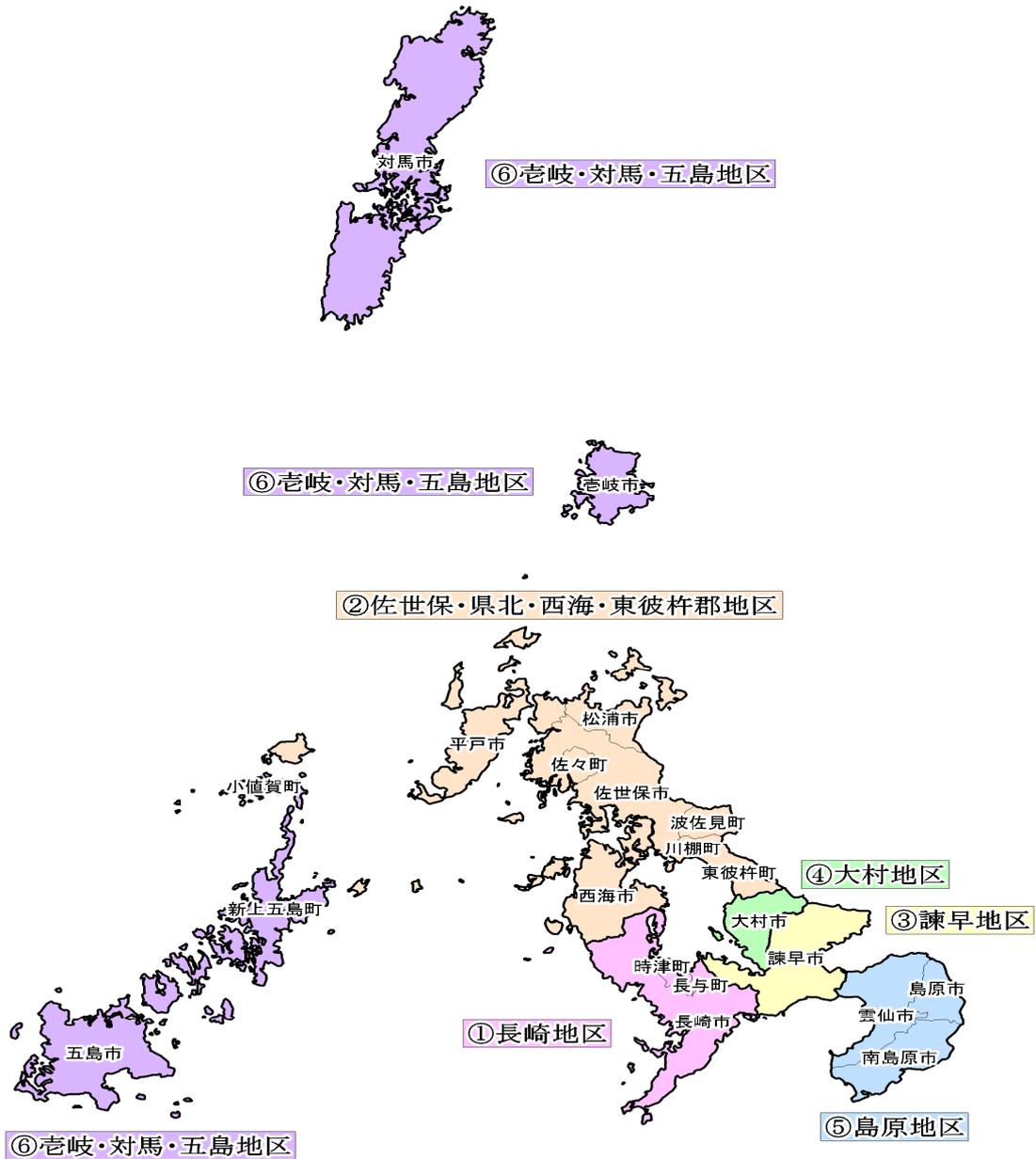
## ⑤島原地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	-25.9	-13.0	12.9	下落感の弱まりを実感
	予測	-19.2	-34.6	-21.6	下落感の強まりを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-42.9	-56.3	-13.4	下落感の強まりを実感
	予測	-40.9	-47.4	8.9	下落感の弱まりを予測
商業地価格	実感	-45.5	-31.6	13.9	下落感の弱まりを実感
	予測	-34.8	-38.1	-6.5	下落感の強まりを予測
中古マンション価格	実感	-25.0	0.0	25.0	下落から転じて横ばいを実感
	予測	-12.5	20.0	20.0	横ばいから転じて上昇を予測
住宅賃料	実感	-8.3	-9.1	-0.8	依然下落を実感
	予測	-17.4	-8.3	0.8	依然下落を予測
店舗・事務所賃料	実感	-45.8	-35.3	10.5	下落感の弱まりを実感
	予測	-39.1	-30.0	5.3	下落感の弱まりを予測

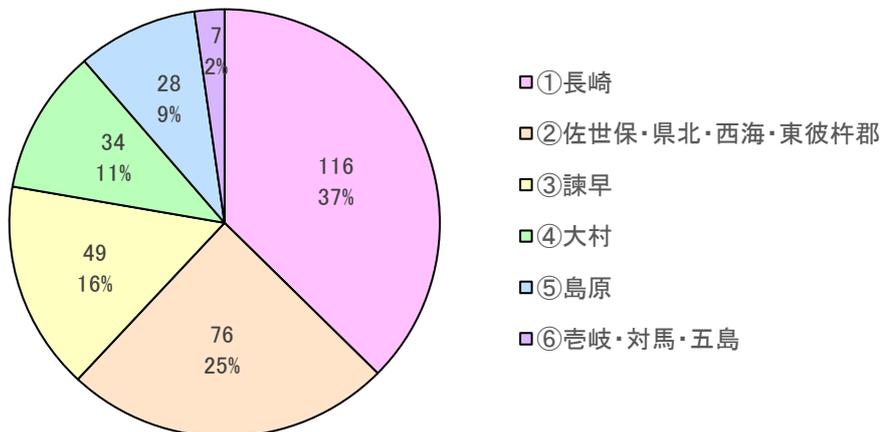
## ⑥宍岐・対馬・五島地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	-44.4	-28.6	15.8	下落感の弱まりを実感
	予測	-44.4	-57.1	-28.5	下落感の強まりを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-71.4	-50.0	21.4	下落感の弱まりを実感
	予測	-75.0	-83.3	-33.3	下落感の強まりを予測
商業地価格	実感	-62.5	-60.0	2.5	依然下落を実感
	予測	-66.7	-50.0	10.0	下落感の弱まりを予測
中古マンション価格	実感	-50.0	-50.0	0.0	依然下落を実感
	予測	-66.7	-75.0	-25.0	下落感の強まりを予測
住宅賃料	実感	-11.1	14.3	25.4	下落から転じて上昇を実感
	予測	-22.2	0.0	-14.3	上昇から転じて横ばいを予測
店舗・事務所賃料	実感	-37.5	-28.6	8.9	下落感の弱まりを実感
	予測	-50.0	-28.6	0.0	依然下落を予測

【問1】 最も取扱件数の多い地域はどこでしょうか。



主な営業地域別回答数(310社)

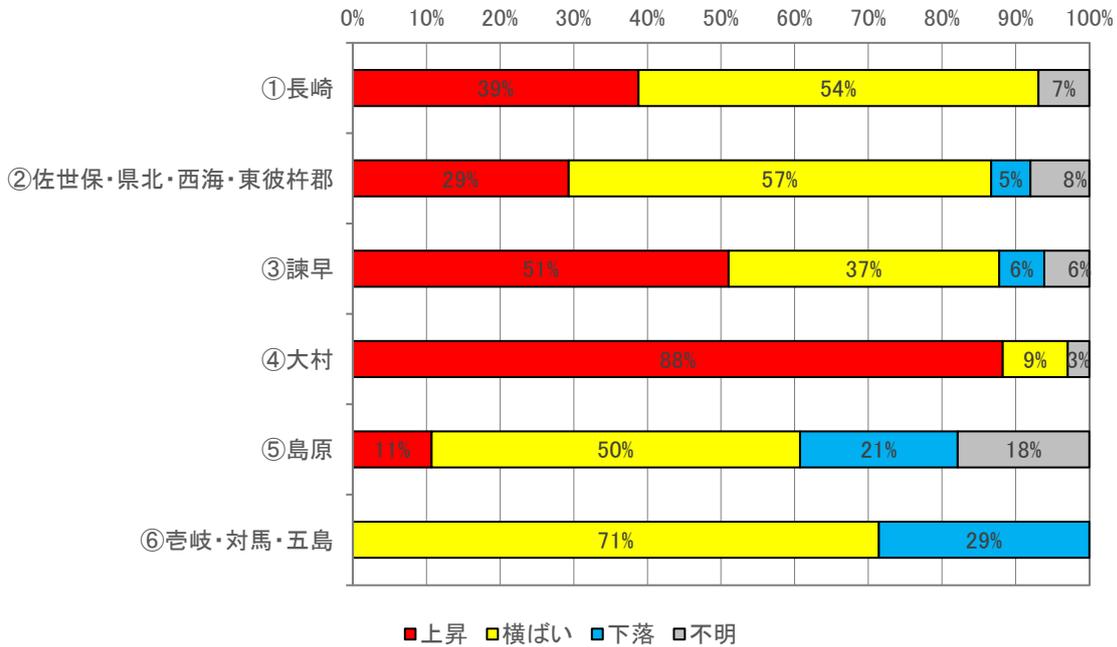


【問2】

現在（令和5年10月1日）の土地価格及び賃料の動向について、1年前（令和4年10月1日）と比較してどのように感じておられますか。

実感

住宅地(平坦地)価格



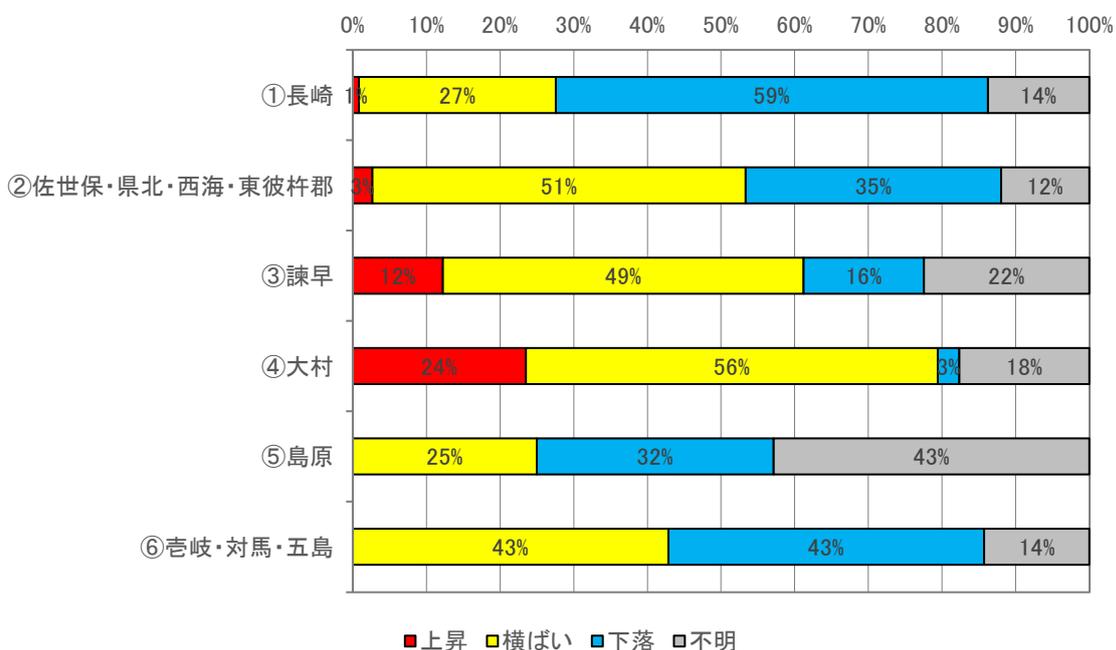
回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	45	63	0	8	116	41.7	45.0	-3.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	22	43	4	6	75	26.1	33.8	-7.7
③諫早	25	18	3	3	49	47.8	40.0	7.8
④大村	30	3	0	1	34	90.9	78.9	12.0
⑤島原	3	14	6	5	28	-13.0	-25.9	12.9
⑥壱岐・対馬・五島	0	5	2	0	7	-28.6	-44.4	15.8
全体	125	146	15	23	309	38.5	37.6	0.9

過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	35.1	30.8	45.1	31.7	25.4	35.9	45.0	41.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	4.3	6.1	11.1	16.7	17.3	23.5	33.8	26.1
③諫早	-5.6	11.8	20.9	20.0	10.8	30.4	40.0	47.8
④大村	28.1	57.1	65.6	36.4	52.4	71.4	78.9	90.9
⑤島原	-44.0	-33.3	-37.5	-39.1	-33.3	-29.6	-25.9	-13.0
⑥壱岐・対馬・五島	-57.1	-57.1	-22.2	-25.0	-28.6	-14.3	-44.4	-28.6

### 住宅地(斜面地)価格



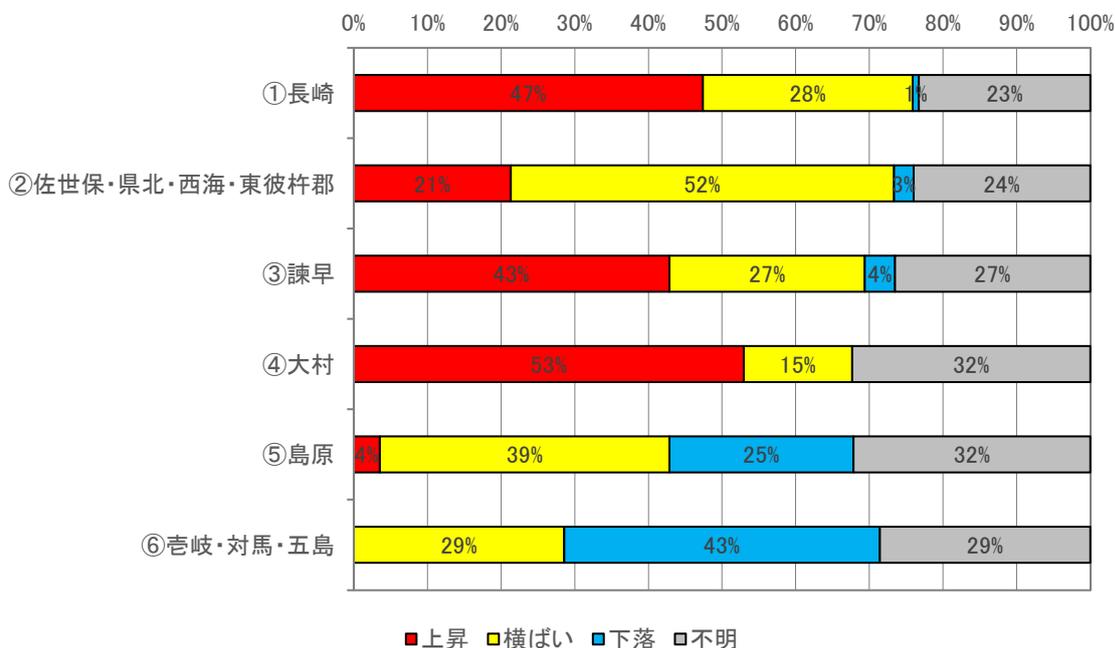
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	1	31	68	16	116	-67.0	-63.6	-3.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	2	38	26	9	75	-36.4	-31.0	-5.4
③諫早	6	24	8	11	49	-5.3	-18.8	13.5
④大村	8	19	1	6	34	25.0	30.3	-5.3
⑤島原	0	7	9	12	28	-56.3	-42.9	-13.4
⑥壱岐・対馬・五島	0	3	3	1	7	-50.0	-71.4	21.4
全体	17	122	115	55	309	-38.6	-39.3	0.7

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-67.8	-66.4	-68.2	-72.1	-71.7	-67.3	-63.6	-67.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-60.0	-31.8	-44.6	-52.0	-52.2	-43.8	-31.0	-36.4
③諫早	-42.3	-25.9	-17.9	-43.6	-47.2	-23.1	-18.8	-5.3
④大村	-21.4	6.3	0.0	-7.1	11.1	14.7	30.3	25.0
⑤島原	-64.7	-70.6	-55.6	-72.2	-63.2	-56.3	-42.9	-56.3
⑥壱岐・対馬・五島	-100.0	-40.0	-55.6	-33.3	-40.0	-50.0	-71.4	-50.0

### 商業地価格



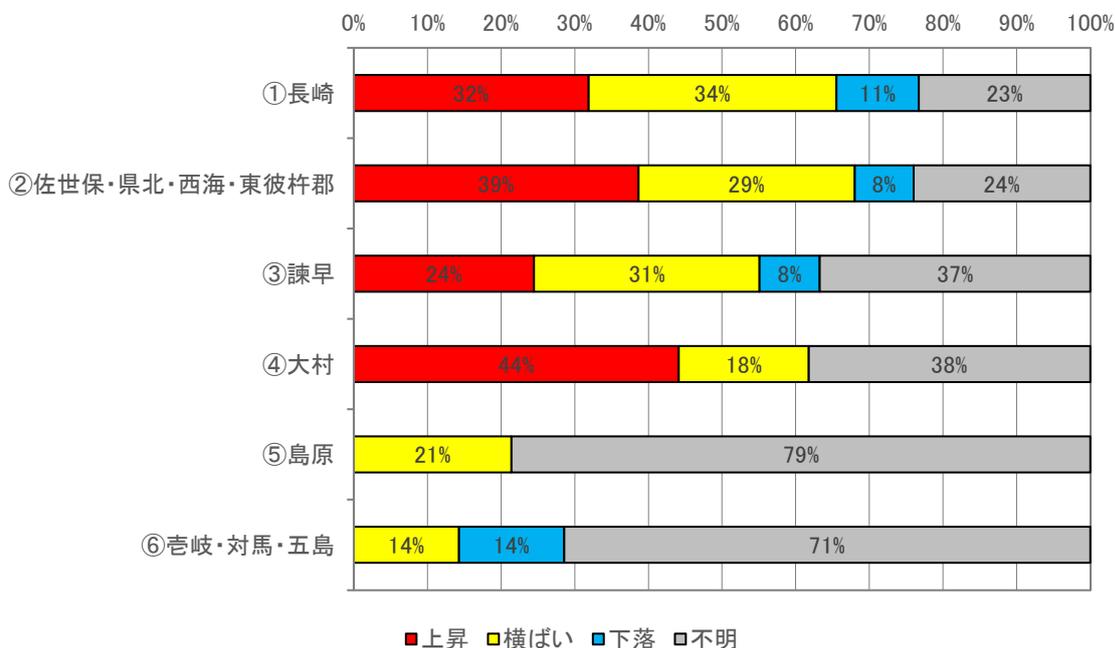
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	55	33	1	27	116	60.7	57.5	3.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	16	39	2	18	75	24.6	10.6	14.0
③諫早	21	13	2	13	49	52.8	37.9	14.9
④大村	18	5	0	11	34	78.3	56.7	21.6
⑤島原	1	11	7	9	28	-31.6	-45.5	13.9
⑥壱岐・対馬・五島	0	2	3	2	7	-60.0	-62.5	2.5
全体	111	103	15	80	309	41.9	33.3	8.6

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	43.8	50.5	63.0	56.0	33.0	39.4	57.5	60.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	5.4	2.5	10.1	16.7	-4.8	11.1	10.6	24.6
③諫早	-18.5	16.0	9.4	10.3	-12.5	17.9	37.9	52.8
④大村	4.3	40.7	39.3	30.8	35.5	36.0	56.7	78.3
⑤島原	-23.8	-50.0	-40.0	-44.4	-57.9	-44.4	-45.5	-31.6
⑥壱岐・対馬・五島	-83.3	-50.0	-33.3	-42.9	-20.0	-33.3	-62.5	-60.0

### 中古マンション価格



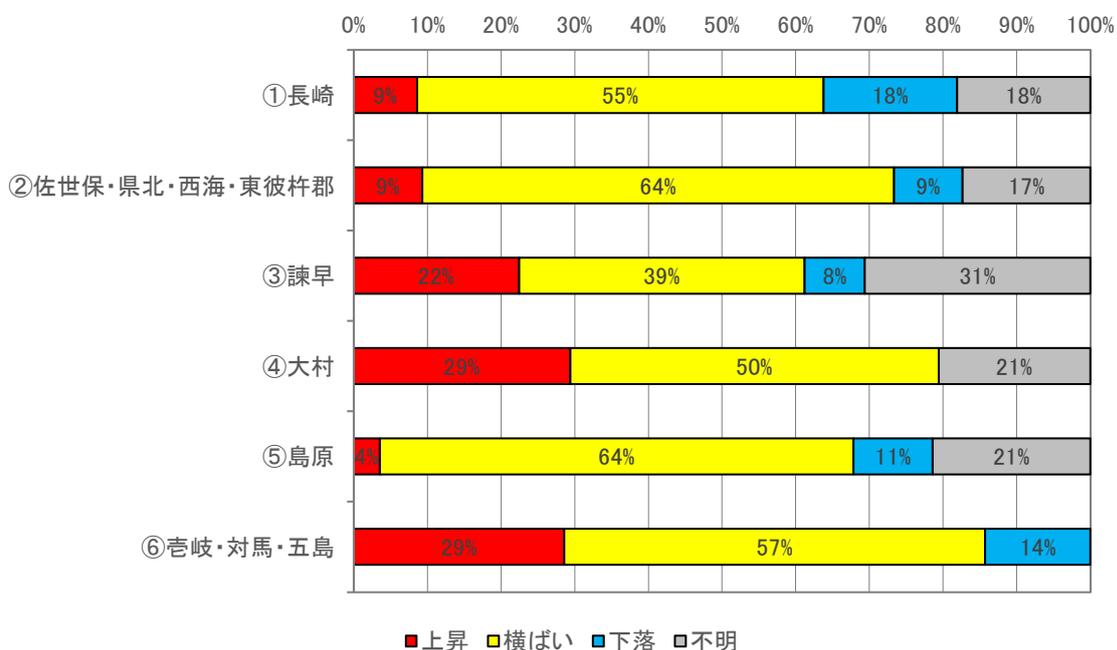
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	37	39	13	27	116	27.0	29.7	-2.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	29	22	6	18	75	40.4	51.1	-10.7
③諫早	12	15	4	18	49	25.8	17.4	8.4
④大村	15	6	0	13	34	71.4	47.8	23.6
⑤島原	0	6	0	22	28	0.0	-25.0	25.0
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	1	5	7	-50.0	-50.0	0.0
全体	93	89	24	103	309	33.5	32.1	1.4

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	27.8	33.0	25.0	19.0	25.2	31.7	29.7	27.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-8.0	30.6	8.1	24.6	24.2	34.6	51.1	40.4
③諫早	-3.8	7.4	9.1	5.6	-10.3	18.2	17.4	25.8
④大村	13.6	37.5	34.8	22.2	24.1	50.0	47.8	71.4
⑤島原	-25.0	-66.7	0.0	-57.1	-25.0	-25.0	-25.0	0.0
⑥壱岐・対馬・五島	-75.0	-33.3	-66.7	0.0	0.0	-33.3	-50.0	-50.0

### 住宅賃料



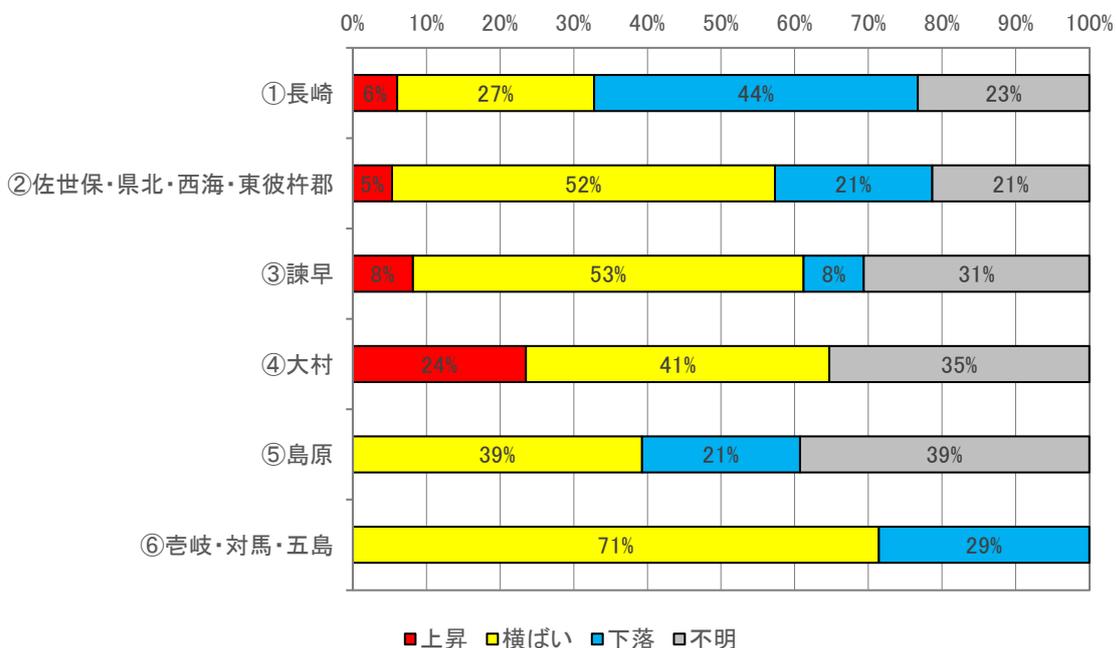
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	10	64	21	21	116	-11.6	-18.5	6.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	7	48	7	13	75	0.0	-5.2	5.2
③諫早	11	19	4	15	49	20.6	3.2	17.4
④大村	10	17	0	7	34	37.0	12.5	24.5
⑤島原	1	18	3	6	28	-9.1	-8.3	-0.8
⑥壱岐・対馬・五島	2	4	1	0	7	14.3	-11.1	25.4
全体	41	170	36	62	309	2.0	-8.8	10.8

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-19.0	-28.5	-33.1	-38.3	-29.7	-24.8	-18.5	-11.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-24.6	-25.6	-19.7	-18.1	-18.8	-16.4	-5.2	0.0
③諫早	-18.8	-6.3	0.0	-17.9	-5.9	10.3	3.2	20.6
④大村	-17.9	-3.4	9.4	3.6	-2.9	12.5	12.5	37.0
⑤島原	-24.0	-22.2	-12.5	-13.0	-7.4	0.0	-8.3	-9.1
⑥壱岐・対馬・五島	-14.3	0.0	-12.5	12.5	14.3	14.3	-11.1	14.3

店舗・事務所賃料



回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	7	31	51	27	116	-49.4	-44.7	-4.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	4	39	16	16	75	-20.3	-20.4	0.1
③諫早	4	26	4	15	49	0.0	-12.9	12.9
④大村	8	14	0	12	34	36.4	6.3	30.1
⑤島原	0	11	6	11	28	-35.3	-45.8	10.5
⑥壱岐・対馬・五島	0	5	2	0	7	-28.6	-37.5	8.9
全体	23	126	79	81	309	-24.6	-30.1	5.5

過去から今回までのDI値推移

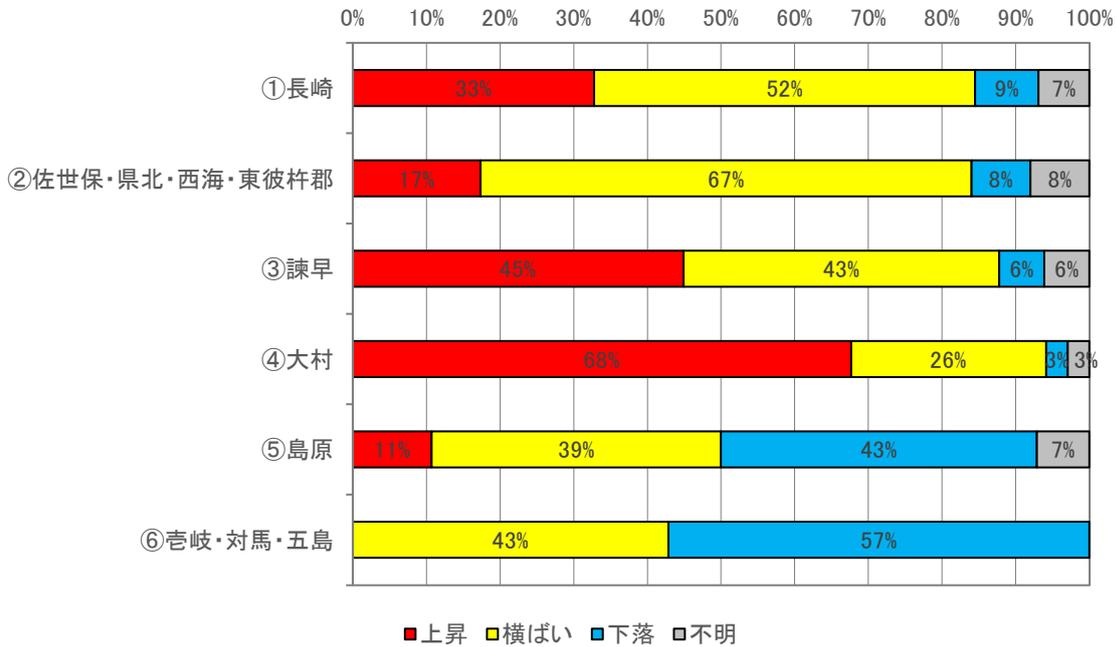
エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-41.5	-46.0	-40.2	-50.0	-60.0	-57.3	-44.7	-49.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-48.1	-51.3	-39.1	-28.6	-56.1	-55.2	-20.4	-20.3
③諫早	-45.2	-27.6	-14.3	-27.0	-35.5	-10.5	-12.9	0.0
④大村	-22.7	-3.7	3.3	7.7	-14.3	-17.4	6.3	36.4
⑤島原	-47.6	-57.1	-38.1	-55.0	-60.9	-38.1	-45.8	-35.3
⑥壱岐・対馬・五島	-28.6	-33.3	-22.2	-28.6	-33.3	-28.6	-37.5	-28.6

【問3】

1年後（令和6年10月1日）の土地価格及び賃料の動向は、現在（令和5年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

予測

住宅地(平坦地)価格



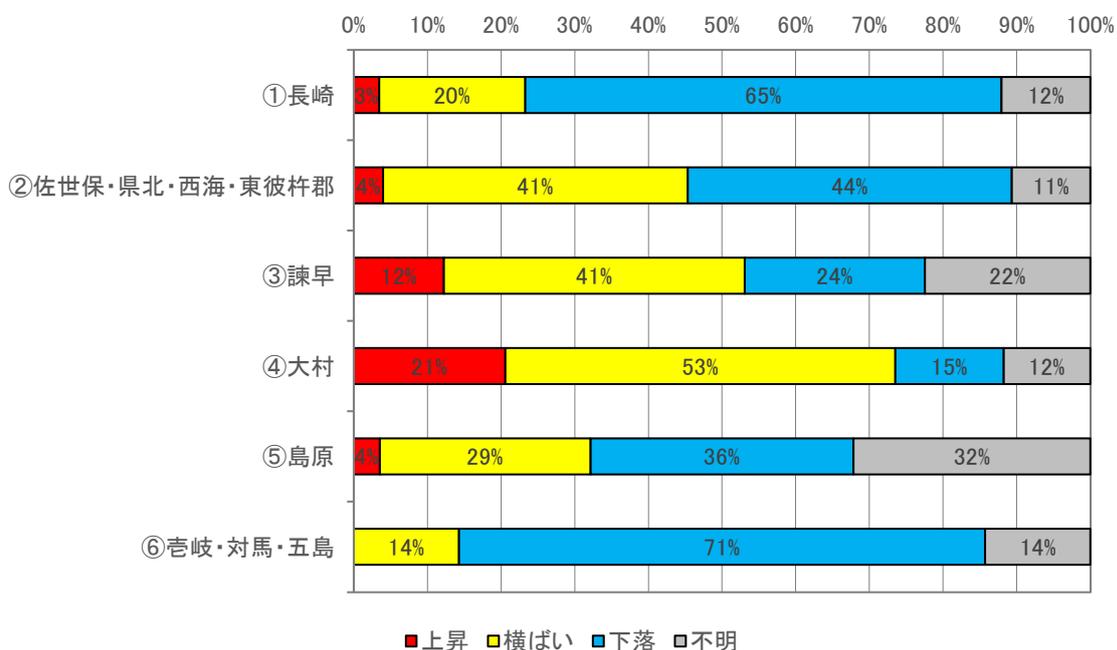
回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	38	60	10	8	116	25.9	24.6	1.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	13	50	6	6	75	10.1	26.2	-16.1
③諫早	22	21	3	3	49	41.3	37.1	4.2
④大村	23	9	1	1	34	66.7	58.3	8.4
⑤島原	3	11	12	2	28	-34.6	-19.2	-15.4
⑥壱岐・対馬・五島	0	3	4	0	7	-57.1	-44.4	-12.7
全体	99	154	36	20	309	21.8	24.6	-2.8

過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	20.8	23.7	33.3	20.7	-1.5	16.8	24.6	25.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	1.4	8.2	17.3	9.1	5.3	9.2	26.2	10.1
③諫早	-5.6	21.2	20.0	0.0	-25.7	19.6	37.1	41.3
④大村	18.8	51.4	46.9	26.7	29.3	44.1	58.3	66.7
⑤島原	-25.0	-33.3	-20.0	-27.3	-42.3	-30.8	-19.2	-34.6
⑥壱岐・対馬・五島	-42.9	-50.0	-44.4	-25.0	-57.1	-28.6	-44.4	-57.1

### 住宅地(斜面地)価格



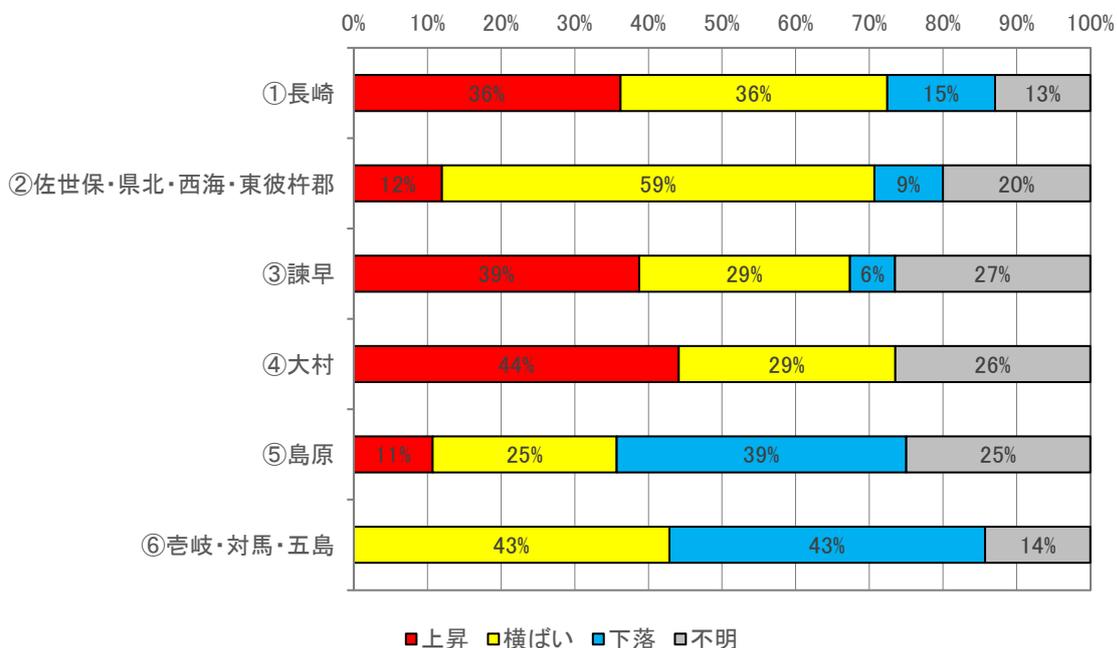
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	4	23	75	14	116	-69.6	-66.4	-3.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	3	31	33	8	75	-44.8	-38.3	-6.5
③諫早	6	20	12	11	49	-15.8	-8.8	-7.0
④大村	7	18	5	4	34	6.7	12.5	-5.8
⑤島原	1	8	10	9	28	-47.4	-40.9	-6.5
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	5	1	7	-83.3	-75.0	-8.3
全体	21	101	140	47	309	-45.4	-43.4	-2.0

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-68.0	-62.9	-65.2	-67.6	-74.0	-69.6	-66.4	-69.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-48.5	-34.8	-39.5	-42.7	-63.0	-43.5	-38.3	-44.8
③諫早	-38.5	-29.6	-16.3	-39.0	-65.7	-26.8	-8.8	-15.8
④大村	-3.3	15.2	3.3	-18.5	-10.8	12.5	12.5	6.7
⑤島原	-50.0	-52.9	-47.4	-64.7	-60.0	-66.7	-40.9	-47.4
⑥壱岐・対馬・五島	-80.0	-40.0	-66.7	-50.0	-100.0	-80.0	-75.0	-83.3

### 商業地価格



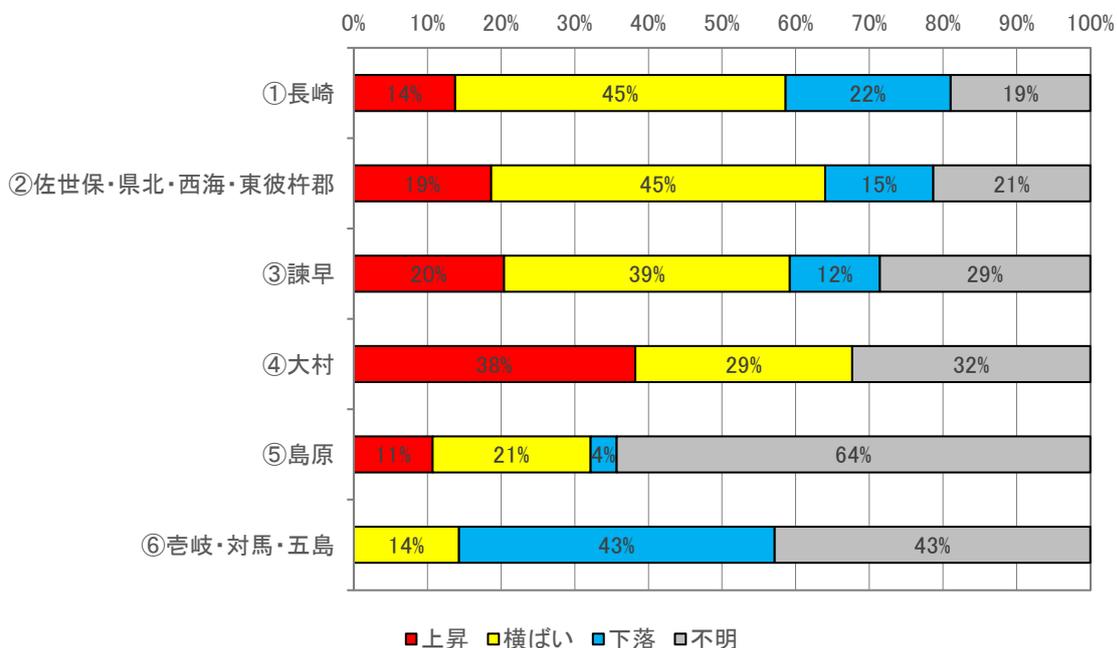
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	42	42	17	15	116	24.8	28.7	-3.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	9	44	7	15	75	3.3	4.1	-0.8
③諫早	19	14	3	13	49	44.4	25.0	19.4
④大村	15	10	0	9	34	60.0	42.4	17.6
⑤島原	3	7	11	7	28	-38.1	-34.8	-3.3
⑥壱岐・対馬・五島	0	3	3	1	7	-50.0	-66.7	16.7
全体	88	120	41	60	309	18.9	16.8	2.1

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	31.9	28.8	42.2	31.0	-3.1	16.0	28.7	24.8
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-6.7	-14.3	12.5	4.4	-27.5	1.8	4.1	3.3
③諫早	-18.5	7.7	5.3	2.6	-33.3	14.6	25.0	44.4
④大村	0.0	28.6	33.3	22.2	5.7	29.6	42.4	60.0
⑤島原	-18.2	-43.8	-27.3	-35.3	-59.1	-55.6	-34.8	-38.1
⑥壱岐・対馬・五島	-66.7	-40.0	-55.6	-42.9	-83.3	-42.9	-66.7	-50.0

### 中古マンション



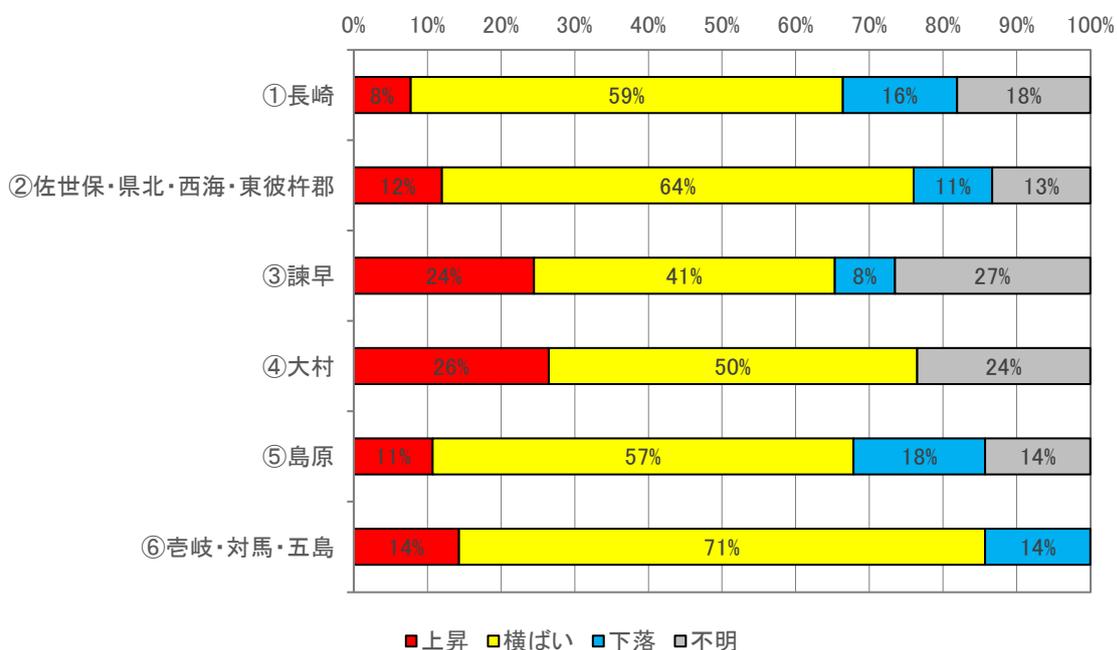
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	16	52	26	22	116	-10.6	-1.6	-9.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	14	34	11	16	75	5.1	19.6	-14.5
③諫早	10	19	6	14	49	11.4	14.3	-2.9
④大村	13	10	0	11	34	56.5	46.4	10.1
⑤島原	3	6	1	18	28	20.0	-12.5	32.5
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	3	3	7	-75.0	-66.7	-8.3
全体	56	122	47	84	309	4.0	9.2	-5.2

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	14.2	10.0	12.4	-4.7	-17.1	-4.7	-1.6	-10.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-5.6	5.3	7.8	9.7	3.1	14.5	19.6	5.1
③諫早	-16.7	-3.7	-8.6	-10.8	-27.6	-5.7	14.3	11.4
④大村	8.7	19.2	40.7	12.5	3.4	25.0	46.4	56.5
⑤島原	-27.3	-100.0	0.0	-33.3	-16.7	-33.3	-12.5	20.0
⑥壱岐・対馬・五島	-75.0	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-66.7	-66.7	-75.0

### 住宅賃料



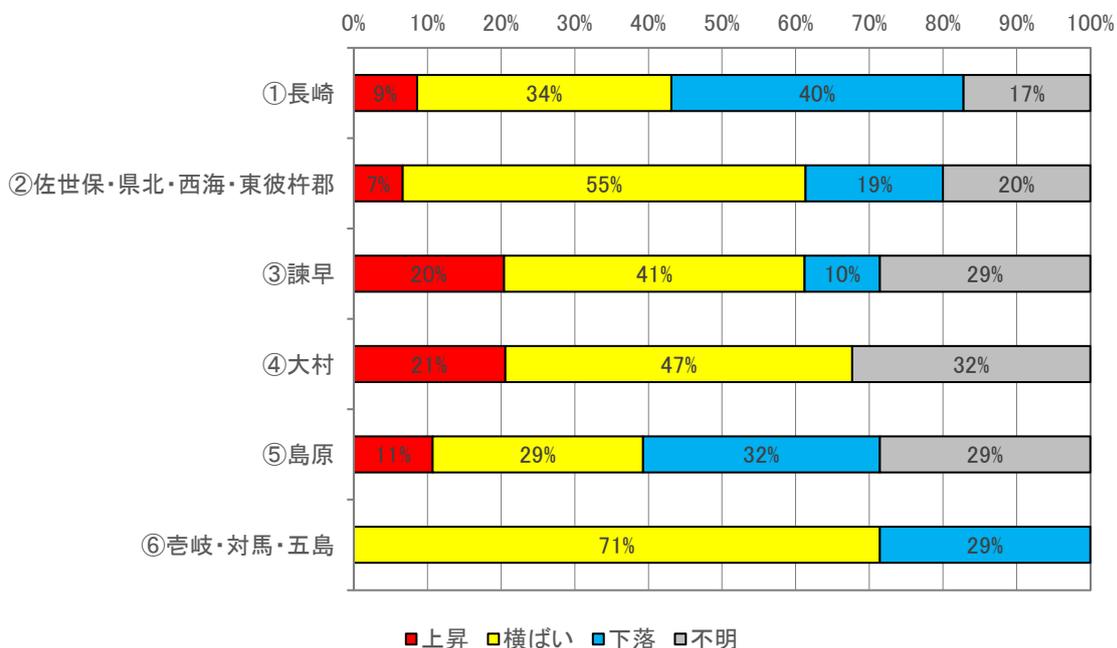
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	9	68	18	21	116	-9.5	-23.1	13.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	9	48	8	10	75	1.5	6.9	-5.4
③諫早	12	20	4	13	49	22.2	0.0	22.2
④大村	9	17	0	8	34	34.6	6.3	28.3
⑤島原	3	16	5	4	28	-8.3	-17.4	9.1
⑥壱岐・対馬・五島	1	5	1	0	7	0.0	-22.2	22.2
全体	43	174	36	56	309	2.8	-10.6	13.4

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-21.7	-24.2	-34.3	-41.7	-41.9	-21.6	-23.1	-9.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-23.8	-30.2	-18.7	-20.8	-40.8	-18.6	6.9	1.5
③諫早	-21.2	-20.0	-21.6	-18.4	-33.3	-2.5	0.0	22.2
④大村	-10.7	-6.9	3.2	-10.7	-18.2	15.4	6.3	34.6
⑤島原	-19.2	-11.1	-16.7	-27.3	-34.6	-3.8	-17.4	-8.3
⑥壱岐・対馬・五島	-28.6	-40.0	-11.1	-12.5	0.0	0.0	-22.2	0.0

### 店舗・事務所賃料



### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	10	40	46	20	116	-37.5	-46.0	8.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	5	41	14	15	75	-15.0	-14.5	-0.5
③諫早	10	20	5	14	49	14.3	-9.7	24.0
④大村	7	16	0	11	34	30.4	13.3	17.1
⑤島原	3	8	9	8	28	-30.0	-39.1	9.1
⑥壱岐・対馬・五島	0	5	2	0	7	-28.6	-50.0	21.4
全体	35	130	76	68	309	-17.0	-28.6	11.6

### 過去から今回までのDI値推移

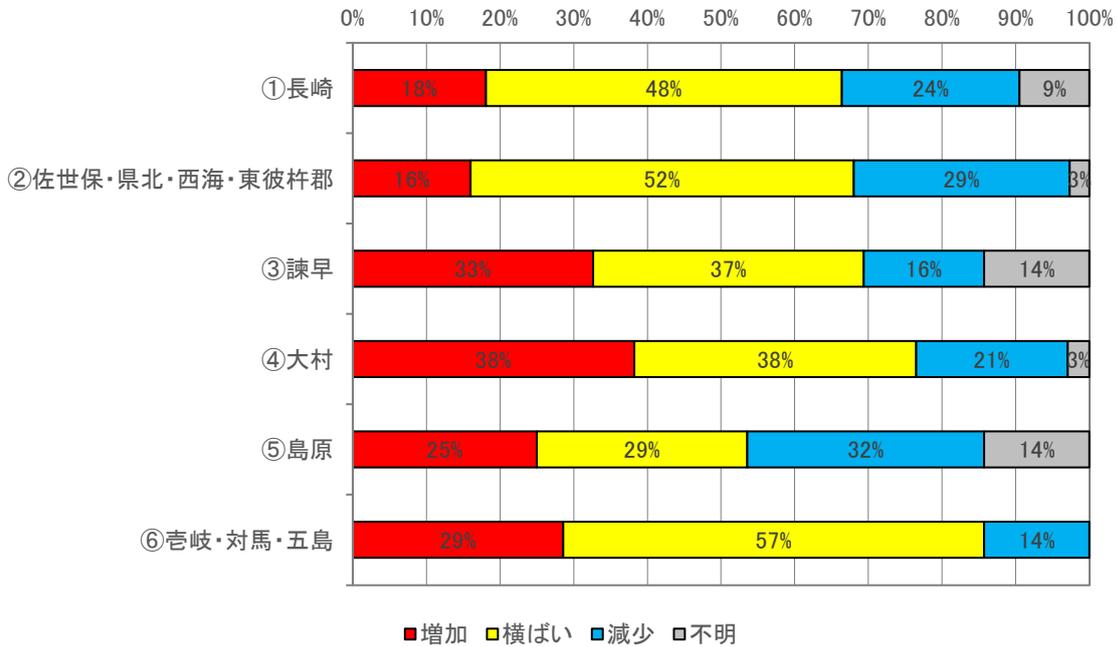
エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-35.1	-40.5	-37.5	-46.7	-68.6	-53.3	-46.0	-37.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-40.4	-41.0	-30.0	-26.1	-66.7	-37.9	-14.5	-15.0
③諫早	-29.0	-37.0	-21.6	-17.9	-41.9	-10.8	-9.7	14.3
④大村	-12.5	-7.4	13.3	-3.8	-25.8	0.0	13.3	30.4
⑤島原	-39.1	-28.6	-34.8	-52.6	-58.3	-47.8	-39.1	-30.0
⑥壱岐・対馬・五島	-42.9	-20.0	-22.2	-14.3	-83.3	-33.3	-50.0	-28.6

【問4】

現在（令和5年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、1年前（令和4年10月1日）と比較してどうなっていますか。

実感

住宅地および戸建住宅取引



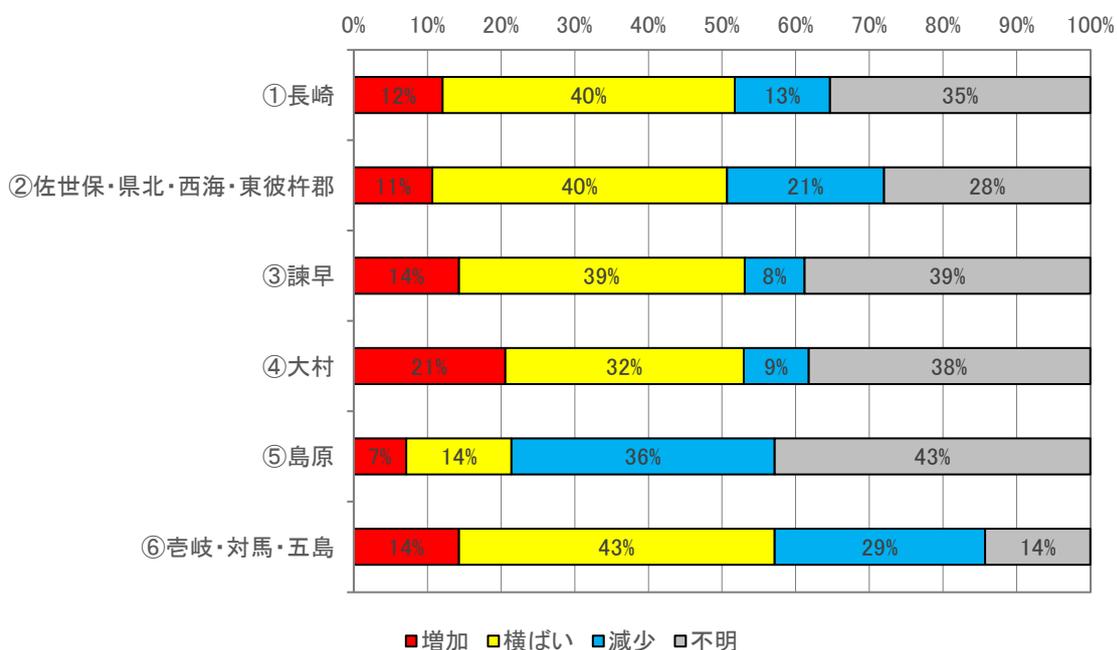
回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	21	56	28	11	116	-6.7	-19.9	13.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	12	39	22	2	75	-13.7	2.9	-16.6
③諫早	16	18	8	7	49	19.0	10.8	8.2
④大村	13	13	7	1	34	18.2	41.7	-23.5
⑤島原	7	8	9	4	28	-8.3	7.7	-16.0
⑥壱岐・対馬・五島	2	4	1	0	7	14.3	-33.3	47.6
全体	71	138	75	25	309	-1.4	-2.2	0.8

過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-8.7	0.8	-11.5	-12.2	-18.5	-12.6	-19.9	-6.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-4.3	4.2	5.0	5.5	-14.3	-4.5	2.9	-13.7
③諫早	17.1	19.4	-2.4	-4.5	-5.7	16.3	10.8	19.0
④大村	9.4	9.1	18.8	0.0	0.0	2.9	41.7	18.2
⑤島原	-23.1	-20.0	-34.6	-20.0	-23.1	-26.9	7.7	-8.3
⑥壱岐・対馬・五島	0.0	28.6	22.2	-12.5	12.5	0.0	-33.3	14.3

### 商業地および投資物件取引



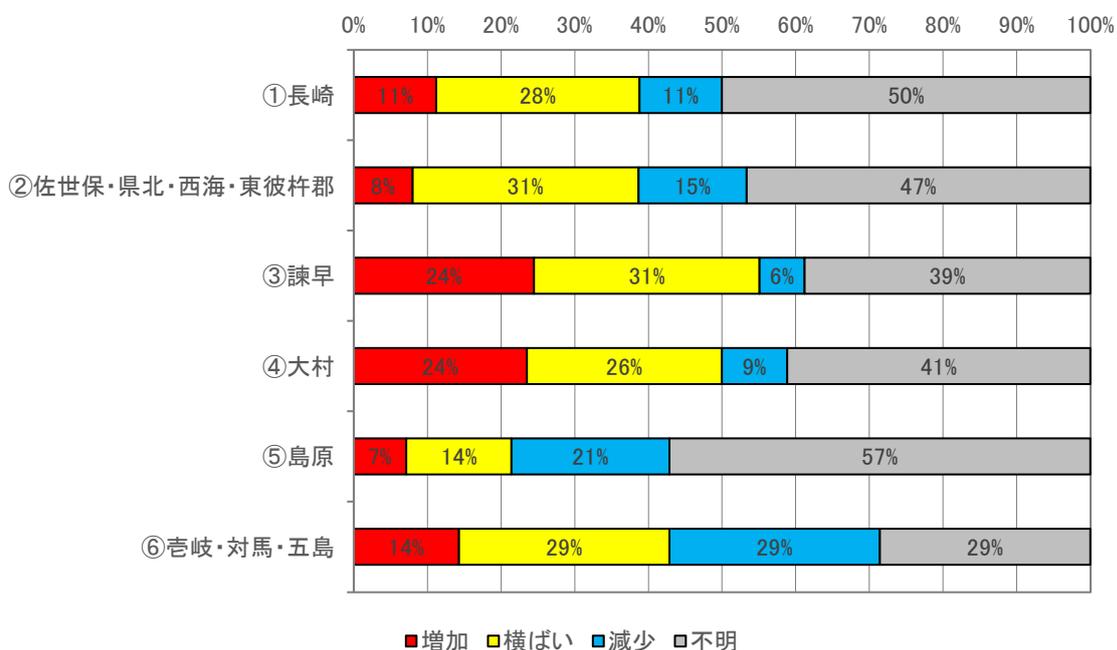
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	14	46	15	41	116	-1.3	-23.0	21.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	8	30	16	21	75	-14.8	-7.8	-7.0
③諫早	7	19	4	19	49	10.0	-24.0	34.0
④大村	7	11	3	13	34	19.0	7.7	11.3
⑤島原	2	4	10	12	28	-50.0	-26.3	-23.7
⑥壱岐・対馬・五島	1	3	2	1	7	-16.7	-85.7	69.0
全体	39	113	50	107	309	-5.4	-18.4	13.0

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-19.6	-11.0	-13.5	-39.6	-37.6	-28.1	-23.0	-1.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-6.1	3.2	-33.9	-22.6	-19.0	-28.6	-7.8	-14.8
③諫早	-6.7	0.0	-3.8	-28.6	-28.0	-3.6	-24.0	10.0
④大村	-11.1	-14.3	-22.7	-20.0	-37.5	-25.0	7.7	19.0
⑤島原	-62.5	-63.6	-53.3	-58.8	-61.5	-50.0	-26.3	-50.0
⑥壱岐・対馬・五島	-60.0	-25.0	0.0	16.7	-50.0	25.0	-85.7	-16.7

### 分譲地またはマンション開発



#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	13	32	13	58	116	0.0	-14.3	14.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	6	23	11	35	75	-12.5	4.5	-17.0
③諫早	12	15	3	19	49	30.0	14.3	15.7
④大村	8	9	3	14	34	25.0	28.0	-3.0
⑤島原	2	4	6	16	28	-33.3	-7.1	-26.2
⑥壱岐・対馬・五島	1	2	2	2	7	-20.0	-66.7	46.7
全体	42	85	38	144	309	2.4	-1.1	3.5

#### 過去から今回までのDI値推移

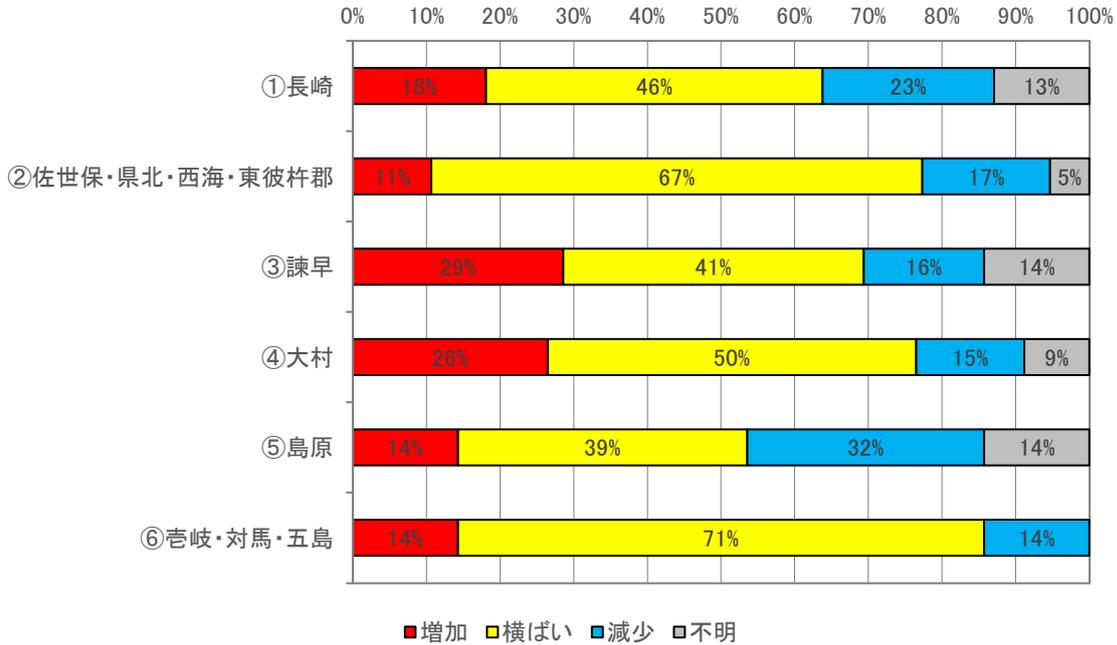
エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-15.3	-10.8	-9.4	-12.1	-19.4	-19.1	-14.3	0.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-2.9	-15.4	-16.7	-6.5	-16.3	-8.9	4.5	-12.5
③諫早	8.7	6.3	8.3	-20.0	-10.0	7.7	14.3	30.0
④大村	10.0	-10.5	12.5	0.0	10.0	43.5	28.0	25.0
⑤島原	-30.8	-57.1	-40.0	-30.0	-71.4	-41.7	-7.1	-33.3
⑥壱岐・対馬・五島	-40.0	-40.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-66.7	-20.0

【問5】

1年後（令和6年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、現在（令和5年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

予測

住宅地および戸建住宅取引



回答数及びDI値

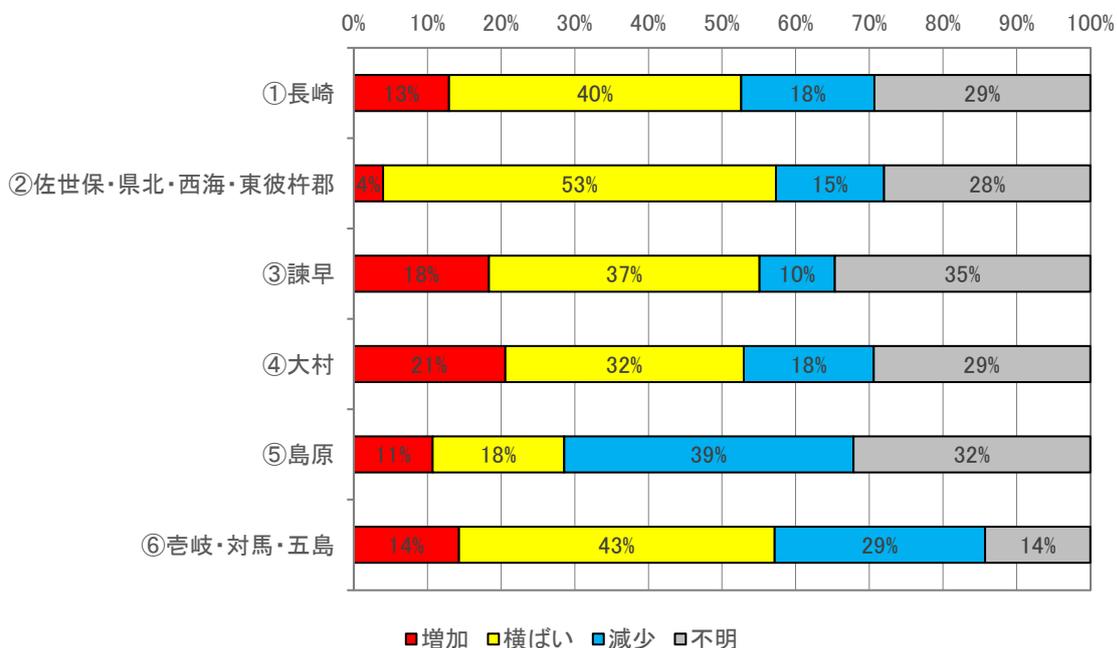
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	21	53	27	15	116	-5.9	-9.2	3.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	8	50	13	4	75	-7.0	9.5	-16.5
③諫早	14	20	8	7	49	14.3	13.9	0.4
④大村	9	17	5	3	34	12.9	13.9	-1.0
⑤島原	4	11	9	4	28	-20.8	8.0	-28.8
⑥壱岐・対馬・五島	1	5	1	0	7	0.0	-11.1	11.1
全体	57	156	63	33	309	-2.2	1.7	-3.9

過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-4.9	-5.8	-2.2	-13.4	-16.0	1.9	-9.2	-5.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-8.8	-4.3	5.0	4.2	-12.2	7.8	9.5	-7.0
③諫早	7.9	32.3	5.0	4.7	-5.6	25.0	13.9	14.3
④大村	6.5	9.7	12.5	18.8	-28.9	5.9	13.9	12.9
⑤島原	-15.4	-20.0	-20.0	-31.6	-32.0	-20.0	8.0	-20.8
⑥壱岐・対馬・五島	-14.3	20.0	11.1	-12.5	-37.5	16.7	-11.1	0.0

予測

### 商業地および投資物件取引



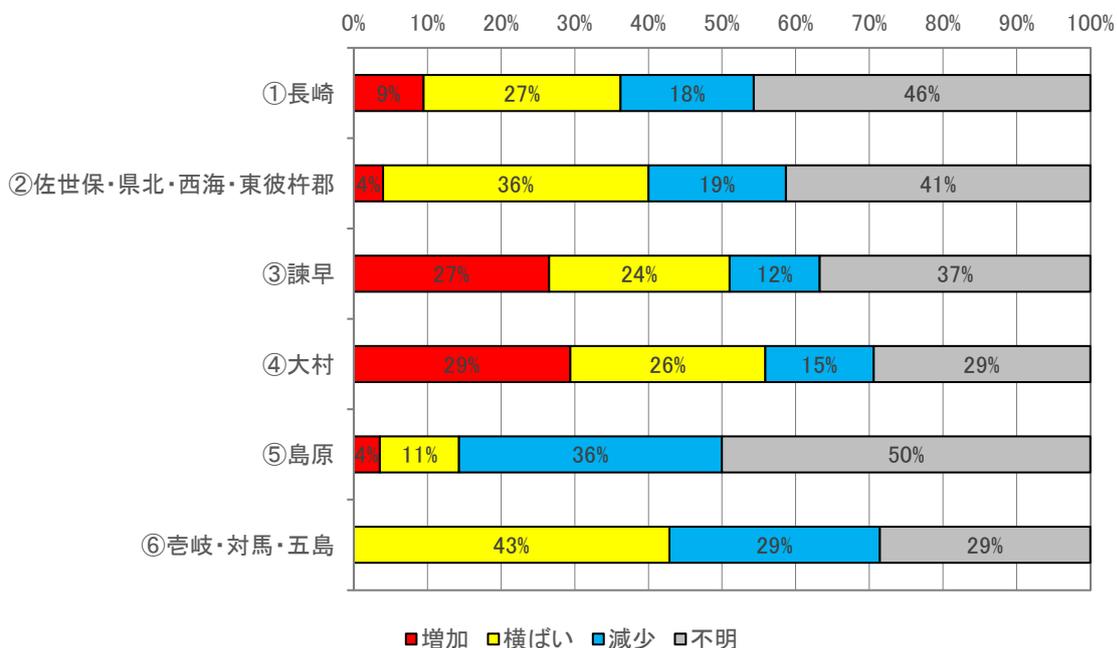
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	15	46	21	34	116	-7.3	-12.6	5.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	3	40	11	21	75	-14.8	-19.1	4.3
③諫早	9	18	5	17	49	12.5	-8.3	20.8
④大村	7	11	6	10	34	4.2	7.4	-3.2
⑤島原	3	5	11	9	28	-42.1	-15.8	-26.3
⑥壱岐・対馬・五島	1	3	2	1	7	-16.7	-71.4	54.7
全体	38	123	56	92	309	-8.3	-13.2	4.9

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-18.1	-19.8	-14.4	-29.1	-25.5	-13.8	-12.6	-7.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-14.6	-20.0	-8.5	-19.6	-21.8	-30.0	-19.1	-14.8
③諫早	-3.6	17.4	-6.9	-22.2	-16.7	-3.2	-8.3	12.5
④大村	0.0	0.0	-14.3	0.0	-68.2	-26.3	7.4	4.2
⑤島原	-56.3	-72.7	-46.7	-57.1	-85.7	-44.4	-15.8	-42.1
⑥壱岐・対馬・五島	-40.0	-25.0	-14.3	0.0	-50.0	0.0	-71.4	-16.7

### 分譲地またはマンション開発



#### 回答数及びDI値

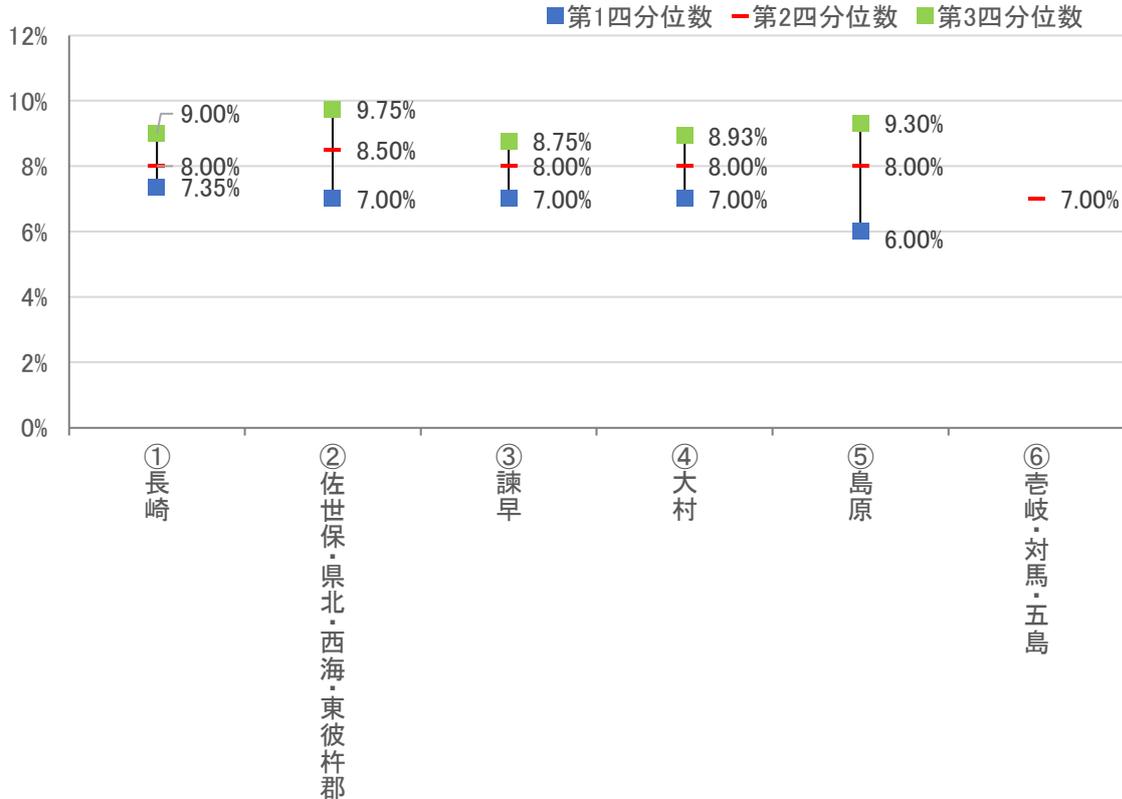
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	11	31	21	53	116	-15.9	-28.6	12.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	3	27	14	31	75	-25.0	9.5	-34.5
③諫早	13	12	6	18	49	22.6	-16.0	38.6
④大村	10	9	5	10	34	20.8	0.0	20.8
⑤島原	1	3	10	14	28	-64.3	-7.1	-57.2
⑥壱岐・対馬・五島	0	3	2	2	7	-40.0	-66.7	26.7
全体	38	85	58	128	309	-11.0	-13.8	2.8

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H28.6	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	-21.3	-14.5	-16.2	-12.5	-27.8	-20.5	-28.6	-15.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-5.4	-8.0	-22.0	-8.7	-24.5	-17.4	9.5	-25.0
③諫早	18.2	15.8	20.0	-17.9	4.0	20.7	-16.0	22.6
④大村	-8.7	16.7	13.0	0.0	-28.0	12.5	0.0	20.8
⑤島原	-42.9	-75.0	-40.0	-30.0	-50.0	-35.7	-7.1	-64.3
⑥壱岐・対馬・五島	0.0	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	-66.7	-40.0

【問6】

築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り（＝全室入居を前提とした年間賃料総収入÷物件成約価格）は平均何%位でしょうか。



エリア	第1四分位数	第2四分位数 (全データの中央値)	第3四分位数	回答数
①長崎	7.35%	8.00%	9.00%	69
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	7.00%	8.50%	9.75%	37
③諫早	7.00%	8.00%	8.75%	21
④大村	7.00%	8.00%	8.93%	18
⑤島原	6.00%	8.00%	9.30%	9
⑥彦岐・対馬・五島	5.00%	7.00%	10.00%	3

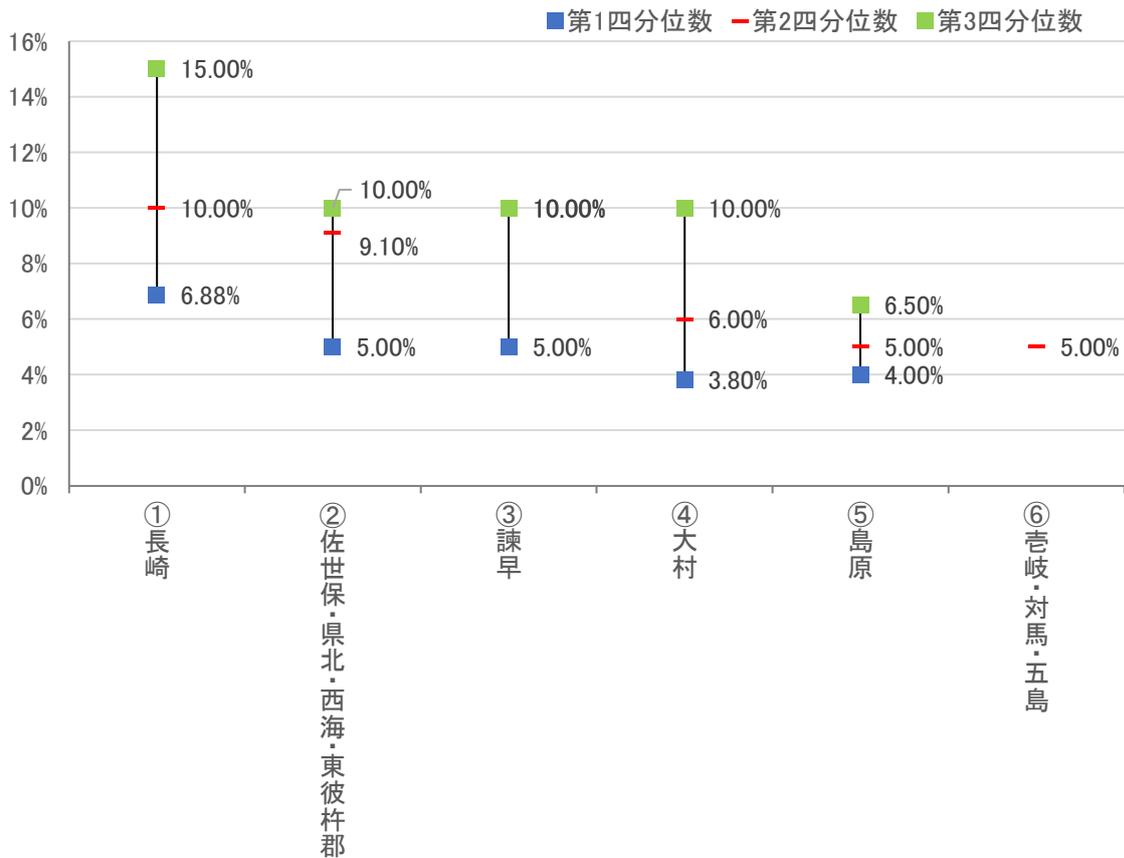
四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値をいう。小さい方から順に第1四分位数(第2四分位数より下のゾーンにおける中央値)、第2四分位数(全データにおける中央値)、第3四分位数(第2四分位数より上のゾーンにおける中央値)という。

過去から今回までの第2四分位数の推移

エリア	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	8.00%	8.20%	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	9.00%	9.00%	8.50%	9.50%	8.00%	9.00%	8.50%
③諫早	10.00%	8.00%	9.00%	8.50%	8.50%	7.00%	8.00%
④大村	9.08%	9.55%	9.00%	8.10%	9.00%	8.00%	8.00%
⑤島原	9.30%	9.25%	8.50%	9.00%	8.00%	8.00%	8.00%
⑥彦岐・対馬・五島	13.00%	8.00%	15.00%	7.00%	9.25%	8.50%	7.00%

【問7】

築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率は平均何%位でしょうか。



エリア	第1四分位数	第2四分位数 (全データの中央値)	第3四分位数	回答数
①長崎	6.88%	10.00%	15.00%	66
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	5.00%	9.10%	10.00%	35
③諫早	5.00%	10.00%	10.00%	19
④大村	3.80%	6.00%	10.00%	13
⑤島原	4.00%	5.00%	6.50%	9
⑥彦岐・対馬・五島	算定不可	5.00%	算定不可	2

四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値をいう。小さい方から順に第1四分位数(第2四分位数より下のゾーンにおける中央値)、第2四分位数(全データにおける中央値)、第3四分位数(第2四分位数より上のゾーンにおける中央値)という。

過去から今回までの第2四分位数の推移

エリア	H29.6	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10
①長崎	10.00%	10.00%	12.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	10.00%	10.00%	6.00%	10.00%	10.00%	10.00%	9.10%
③諫早	8.50%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	8.50%	10.00%
④大村	10.00%	12.00%	10.00%	10.00%	10.00%	5.00%	6.00%
⑤島原	8.25%	8.00%	9.50%	15.00%	10.00%	8.00%	5.00%
⑥彦岐・対馬・五島	10.00%	5.00%	5.00%	5.00%	3.25%	6.50%	5.00%

今回ご協力頂いた事業所一覧（順不同・承諾を頂いた事業所のみを掲載）

(株) 市場建築
オフィス・エヌ・ワイ・ケイ (株)
(株) カツユウ企画
社会保険労務士・行政書士宝町法務事務所
(株) ショウセイ不動産
住吉不動産 (株)
(株) トリプルエイト
長崎西海移住定住サポートセンター
BROS
アースコンサル (有)
あおい宅建 (有)
(有) キャプテン西九州
(有) 湘栄
(株) 第百不動産
(株) ホームズ
相川工務店 (株) 南島原支店
池田建築設計事務所
相川工務店 (株)
(株) サン晃住環境システム
(株) アトリエ・プランニング
(株) ウイングホーム 大村営業所
田中建設産業 (株)
ひまわり不動産 (有)
(同) E.H.リアル エステート
アライブハウス
(有) 池田地所
イーリビング (株)
(株) エステイズ企画
エール不動産
オフィス福井
貝賀住建 (有)
菊地不動産
(株) 協同ライフ長崎
(有) きよう土地建物
(有) k u r i y a
グラバー不動産
KN不動産行政書士事務所
KB不動産 (有)
(株) 小林不動産
小宮建設 (株)
(株) 西海建設
(有) さかい住宅
(有) サン・レインボー
晴和不動産
(株) 谷川建設谷川不動産

大和ハウス工業 (株) 西九州支店長崎出張所
(株) 地中海東長崎店
田園都市 (株)
中町不動産 (有)
長崎大建不動産 (株)
(株) ハウスDECO
ひぐち不動産グッドライト (株)
(有) ひまわり不動産
ひろせ不動産
(株) ファミリー長崎支店
不動産カドムラ企画
(有) マック
松下FP不動産
丸協不動産
(株) 三上住宅
宮川住研 (株)
(有) 明生興産
モアエステート
山口不動産 (有)
やまたつ建設 (株)
(株) 山本不動産
(株) よしひろ企画
(株) よしひろ企画北店
(株) ライフコンパス
(株) R I C C
(株) ルヴァン
(株) ルーモエステート
(株) アウルエステート
アトム不動産 (株)
(株) あんしん住宅
永代ハウス (株)
エステイト・吉居
エースハウス (株)
大宮不動産
(株) オフィスえん
きらら不動産 (株)
(有) 黒田工務店
(株) クロダ佐世保支店
グローバル不動産
(有) 県北総合住宅
櫻不動産 (有)
佐々不動産
(株) サム不動産
新日本不動産 (株) 佐世保支店
(株) スカイホーム

(株) スカイホーム ミニミニFC佐世保大塔店
(株) 大成住宅
(株) 谷川建設佐世保支店
(株) 東彼不動産
(株) ドアーズ
(株) バードハウジング
久田不動産
(株) プラム
(株) ミツワ
森吉不動産コンサルティング (株)
(株) 山縣
(株) ユウキ
(有) リンクス
(有) ロン・ホーム企画
(株) アオキ不動産
(株) あこう不動産
E. M. サービス
(有) 駅前不動産
M&Mプロジェクト (同)
大村土地建物 (株)
陰山商会
(株) 笠井建材店
(株) シンコー地所
(有) 十八不動産
高瀬建設 (株)
(有) とかい不動産
(株) 永尾開発
林住宅不動産
(株) ミツワ不動産管理
(株) 陸自不動産
(有) アイエス企画
(有) いーホーム久米不動産商事
(有) ウシロダ商事
大家不動産 (株)
(株) クロダ
ジスコ不動産 (株)
(株) 谷川建設諫早営業所
第一総合不動産
(有) 中野不動産
(有) ニチエイ地所
(株) ハウジングアシスト
(株) ハート不動産
肥前不動産
(有) 堀川総本店
マルエイ不動産 (株)

(株) ミヤコ
(有) モリ不動産
吾妻不動産
エステート・プラス
小浜不動産
(有) 旭産トーヨー住器
(株) 三長不動産
宅島建設 (株)
第一不動産 (株)
(有) 長崎不動産
(有) 日建不動産
(株) ホンダ不動産
(同) ホームインデックス不動産
ミズキ不動産
(同) ライフプラン不動産
壱岐不動産 (株)
(有) 千代田建設
対馬不動産 (株)
山一不動産 (株)

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
長崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧市街地の道路拡幅等、道路整備を優先しないと人口流出が続く。</li> <li>・車の入らない土地が多くては、生活環境が変わらない。</li> <li>・箱物をいくら作っても一緒（人口増加はムリ）。</li> </ul>
長崎	<p>新築の価格が高くなりすぎていると思う。          今後は売れなくなり、価格を下げる事になると思う。          アパートも、中心地に転居が増えると思う。地方のアパートは空室が多くなるので、賃料は下げないといけないと思うが、下げても入居者が決まりにくくなると思う。          長崎の人口減少は止められない。</p>
長崎	<p>様々な要因から、長崎の住みづらは加速しているように思います。          中心部だけでなく、周囲の住宅地の再開発など、長崎市に住みやすくなる何かがないと将来が心配。</p>
長崎	<p>来年秋には「長崎スタジアムシティ」が開業予定で、雇用創出、人口増加、更には施設の集客により爆発的な経済効果が期待できます。          不動産業界もその恩恵を被り、業種が潤っていくことを期待したい。</p>
長崎	<p>長崎市南部の中古戸建売買は、人口減少も重なり購入対象者が減ってきているのがはっきりと分かります。従って「お得感」のある物件でなければ順当に売却出来ないと思います。          売却相談を受ける際、売出し価格についても現状を正確にお伝えし、余り期待値を上げない方が良くかと思っております。</p>
長崎	<p>少子高齢化の傾向に歯止めがかからない。          不動産の動きも悪く、経済は先細りのような感じがします。          マンションの建設ラッシュが目にも余るようなと思いますが、果して完売若しくは賃貸であれば満室となるのか、疑問に思います。          長崎駅前再開発の効果を望みとして、観光客の呼び込みに期待したいと思います。</p>
長崎	<p>◎人口減少対策は、斜面地の活用が有効と考えられる。          現状……斜面地の空き家が増加している。          原因……宅地に通じる車道がない事。              宅地に乗り入れ不可で近隣にも駐車場がない事。          対策……斜面地の道路を車道（自動車通行可能）に改良する事。          斜面地の対策として、階段道路を車道への新設・改良が最も有効な手段です。          自動車乗り入れが可能（近隣に駐車可能）な状況であれば、住宅建設が必ず進みます。</p> <p>行政への働きかけ          ① 長崎市が行っている車みち整備事業の人材強化及び柔軟な対応          ② 上記事業以外の特例措置による階段道路等の車道（自動車通行可能）への改良</p>
長崎	<p>長崎駅前再開発・長崎スタジアムシティの建設などの大型開発で長崎市の中心部が移動した関係で地価が上昇するエリアも変化すると思われる。          県外ディベロッパーの進出でマンション用地価格が高騰したが販売スピードの鈍化もあり、今後は適正な価格に落ちつくと思われる。</p>
長崎	<p>長崎駅前再開発、スタジアム建設等で、現在は上昇する雰囲気ですが、人口減少は止まっていない為、ピークを迎えた後の落ち込み対策が必要と思います。</p>
長崎	<p>人口減少を主因として低迷する本県の経済ですが、今年のNPBにおいて阪神タイガースがリーグ制覇のうえ日本一となったことにより、本県への経済効果も期待できます。          首都圏から効果が波及するのは3年～4年といわれるので、関西圏からだとも1年～2年というところでしょうか。          いざなぎ景気（この時はリーグ制覇のみ）も、バブル景気も同球団の優勝から始まっています。低迷する地方経済のカンフル剤として期待しています。</p>

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
長崎	<p>駅前再開発の効果は今後期待。観光客は一定の戻りは感じ、インバウンド系の企業には、多少明るい状況となったのではないかと。 一方、取得可能な用地は少なく、高額化の方向は弱まらない。 コンパクト化を街全体で進める事も、中長期で見れば大事ではあるが、住宅地の広域化の側面も重要だと思う（利便確保した上で）。</p>
長崎	<p>長崎駅周辺の再開発に伴い、人・物の流れが今後どのように推移していくのか、又どのような影響があるのか、注視したい。</p>
長崎	<p>人口流出（減少）で、賃貸物件の空室、中古住宅の売買も減ってきていると思われる中、資材etcの物価高で新築住宅の着工も減少している。 長崎県内に就職し、生活の拠点となっていくような教育を大人が（学校も含め）しないとイケないと感じます。</p>
長崎	<p>現在進行中のジャパネットシティが構想通りに進めば、新規雇用拡大から人口減少が増加に転じる可能性あり。長崎市内及び諫早を含む周辺地域の賃貸物件の需要と賃料の上昇に期待がもてる。そうすると、老朽化した賃貸物件の建て替えも増えると思う。今後は分譲マンションの新築計画も一服し収益用物件の計画が増加となる気がします。</p>
長崎	<p>長与町中心部に大型マンション（100戸超）が完成することで、近隣の中古マンションの価格がどうなるか、長与町に新しい団地が造成されている点も含め、興味深い。居住用売買物件がこのように動いているが、賃貸は逆に空きが増えている。一度空くと次が決まりにくい。 居住用・事業用いずれも安い賃料を求められるが、設備は新しいものを求められるので、家主はそのアンバランスさに戸惑っている。（改装等費用を家賃に反映しにくい） 「居住：4.5万以下、7.5万以上10万以下、事業：10万以下」を求められるが、「居住：5～7万、事業：20万～」が空きが多くマッチングできない事が多い。顧客の資金力が年々下がってきていることを実感する。</p>
長崎	<p>建築コストの著しい増加と人材不足が、分譲マンション、戸建住宅、投資用マンション、アパート用地の一層の取引数後退を招くと感じます。 これに呼応するように、価格も下落。 他方、商業地域においても人気、不人気の明暗が鮮明になりつつあることから、容積率は潤沢でも大規模面積土地の出口戦略が描けず、どんな用途で利用するのか？について逡巡する場面も多くなると推測します。</p>
長崎	<p>（賃貸）ワンルーム・1K・1LDKは供給過多、空室目立つ。夏は猛暑日が続く来客数減少。10～11月は消費者の財布の紐が固かった。物価高による影響が続いている模様。テナントは依然として弱い。</p>
長崎	<p>高齢者や外国人の方が入居できる物件が多くあるのがあたり前になったらいいなと思います。</p>
長崎	<p>（長崎駅前が）長崎市内の中心部になっていくことになり、近隣地価もかなり上昇していると思う。</p>
長崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎市、長崎県による戦略的な企業誘致で市長、県知事によるトップセールスを強化願います。</li> <li>・公有地の民間への払い下げなど、積極的な土地活用をお願いします。</li> </ul>
長崎	<p>投資用物件に関しては現状の利回りでは収支が取れなくなっている。 諫早市内においては、賃貸に関して新規の物件が増えてきており家賃の下落が見込まれる。 需給のバランスを我々業者も考える必要がある。</p>
長崎	<p>コロナがあげ、件数は増加。 建築、造成価格上昇の為、家賃、物件価格が上昇。</p>
佐世保	<p>人口減少、不景気でしょうか。取引件数が少なくなりました。</p>

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐世保市中心部のマンション開発が進んでいるので、中古マンションの流通増加を予想します。</li> <li>・法改正により、戸建空家の対策案件の増加も予想します。</li> </ul>
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した分譲地の空きや、メーカー建売住宅の1年以上の売れ残りが目立つ。</li> <li>・平地の便利の良い所の需要は変わらず多いが、建築費用の高騰により、新築する人が少なくなっている。</li> </ul>
佐世保	この1年間での投資物件取引の案件数が増えている。又、募集のためネット掲載をすると、多数の問合せが来る。 年齢層は20～40代の若い投資家が増えているように感じる。
県北	佐々町は今のところ人口は増加傾向ですが、その他の地域は減少しています。
佐世保	土地価格、建設費、金利の上昇に賃料が追随できていない。
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>①金利の上昇で佐世保市内在住者が所得で厳しさが見受けられる。</li> <li>②不動産を投資に変わっている。</li> <li>③金融機関が独占禁止法で業務を行っている。</li> </ul>
佐世保	業界として業務で感じる相場観のアンケート結果にあまり意味を感じないです。 %など数字が一人歩きしない様にご配慮お願いします。
佐世保	年々、人口減少が見受けられ不動産の動きも少なく感じられる。
佐世保	賃貸及び売買の双方について令和5年度は前年度に比べ減少しました。
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐世保市内は、調整区域の規制強化により、売買可能地が減少。</li> <li>・大型開発地（ひうみ）や平地の価格上昇や、物価上昇により建物価格が上がり、一般世帯の購入が厳しい状況により高価格土地（1000万円以上）は売れない状況。</li> </ul> 今後、スタグフレーションの影響が懸念され、本エリアは極めて厳しい市場となると考えます。
佐世保	人口減少により、中古住宅、中古マンション価格は下落していくものと感じている。 特に築古住宅については、大幅に下落すると思う。
佐世保	競売物件価格が上昇している感じです。
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 人口減少で賃貸物件の空室が多くなっている。</li> <li>2. 新築物件の価格が高騰し、土地の価格の低下が見受けられる。</li> </ul>
佐世保	ある意味、順調に人口が減少している肌感がある。 大きな企業が少なく、観光客も以前に比べ減少していると思われる。 佐世保の市場として増えているのは、県外に居住している相続人が不要な財産として処分を求める方が見受けられる。 至って斜面地にあり車両の通行が不可能な場所が多い様に感じられる。当然、流通価格の査定が低く、買い手も見つからない。
佐世保	50戸連たん区域による規制緩和が見直された為、市街化調整区域の取引件数が減少した。
諫早	諫早市内はSONYや京セラの進出予定に伴い、ワンルームアパート・マンション等の投資が多いが、金融機関も単身者用の融資は止まっており、融資の相談が全ての銀行に回っている様である。10年・20年の築後物件が入居対策で値下げに転じなければならず恐ろしい。
諫早	諫早においては、イズミ（ゆめタウン）のオープン、京セラの工場の開設等、雇用が見込める事業所が2026年度開業に向けて準備が進められているので、アパート等の建築件数が増加している。住宅の需要が高まっている為、不動産市況は当面、上昇傾向になっていくと思われる。

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
諫早	諫早市は、郊外へのゆめタウン建設（R7年）や工業団地内にソニーの工場増設等が計画されており、賃貸アパート・マンション等の建築ラッシュです。将来を見越しての建築ラッシュと思われますが、造れば満室となります。今後築浅物件と築古物件の差別化が進むと思われます。
諫早	諫早駅周辺の再開発後の変化について注視していく。
大村	宅地分譲を行う上で、地主の希望売値（素地）が高騰し、仕入れが厳しくなっている。
大村	大村市においては、長崎県内の人口が年間1万人が減少しているなか、西九州新幹線効果や水陸機動団の新設等で年間に約500人前後増え続けており、この10年くらいは、このまま推移していくものと予測されていますが、人口構成比を見ると、家を建てる30～40代人口は、逆に、この10年で約3,000人程度減ることが予測され、今後は住宅地に対する需要も徐々に減っていきそうで、価格も徐々に下がっていくものと思われます。
大村	県内で人口増のある希少な地域、空港、新幹線駅、高速インターを兼ね備えた地域であり、何もせずして人口増になっている感がある。 勿論、その為に受け皿として宅地造成は行われている。 数年前と異なり、地域による土地価格が一定でなく、大村市という広い範囲で驚くほどの価格差も生じている。つまりそのような地域で何でこんな単価になるの？である。
大村	・新幹線開通後の新大村駅周辺の今後の変化に期待 ・市外からの移動も多いので、住環境・福祉・その他のサービスの充実と、さらなる宅建協会との連携を、行政に依頼したい。
大村	宅地分譲地は建築条件付が多く物件数も今年は増えました。 昨年よりも宅地も建売住宅も売れ行きは落ちている様に感じます。 中古住宅も価格が上がり、安い物件を探している方は多いと思います。 土地の値上りも自分の感覚以上に上がっている気がします。 空家も増えている様なので中古住宅は増えていくと考えています。 購入希望者は多いので物件情報を充実したい。
大村	新幹線が開業して1年経過し、これまでは開業そのものへの期待感から先行した動きがあり、駅前も開発されていくので今後も一定の盛り上がりはあると思われる。しかし新幹線が通る場所すべてが長く盛況にあるとは限らず、今後の新幹線の活用方法に掛かっていると思われる。
大村	大村市の新大村駅付近の宅地、アパート（住居用）、戸建の希望者が特に増えてきている。
大村	・取引自体は活発になってきているが、地価の上昇、資材や人件費の高騰による影響は大きくなっている。 ・長崎駅周辺の再開発の効果も一定限度にとどまるのではないかと思う。
島原	コロナウイルス感染症の終息により、我が雲仙市でも観光客の増加は見込めるようになった。 また、島原半島自動車道路の建設工事が地元吾妻町でも開始され、徐々にではあるが、アパート建設等の用地確保についての要請があるようになってきた。
雲仙	県央地区（諫早市）の工業団地開発や大型商業施設の建設予定などもあり、県央地区を中心に賃貸住宅の建設や分譲宅地の開発が進んでいる。但し、急激な物件数の増加などで需要と供給のバランスが崩れないかが心配。

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
島原	<p>&lt;売買&gt;                      都会在住者が実家を売却したいという依頼が益々増加傾向にある。</p> <p>&lt;賃貸&gt;                      ・住宅                      コロナ禍によって所得格差が更に広がったようで、高額家賃の築浅物件の成約は旺盛だが、これまで地元在住の方々に人気だったリーズナブルな家賃の物件の動きが停滞している。</p> <p>・店舗・事務所                      コロナ明けで、開業・出店の意欲が旺盛で、特に飲食店の動きが著しい。</p>
島原	<p>島原半島3市で「空家バンク」に登録、「たっけんくんネットながさき」に掲載を望まれる住宅・更地が多くなりました。</p> <p>売却・賃貸も、現況では需要は困難な実情みたいです。</p> <p>長崎県宅地建物取引業協会での対策・対応を期待いたします。</p>
島原	<p>本年度は、売買物件及び賃貸物件共に取り扱いが、前年度と比較して著しく増加しました。</p> <p>特に売却物件に関しては、令和6年4月からの相続登記義務化に伴い、相談案件が増えたことに要因があったものと推測されます。</p> <p>令和6年4月以降も、相続案件の相談が増えるものと思慮いたしております。</p>
島原	<p>島原半島はこれまでもそうでしたが、これからはもっと人口の減少が進んで不動産市場の停滞が予想されます。地方の良さを生かした田舎暮らしを考えたがよいか中々分かりません。私みたいに昭和の右肩上がりの時代を過ごした者にとっては対応に苦慮します。チャットGPTや人工知能をどのように使うか、又、使われるか？で世の中が全く違うものになります。この人口減少により、一時代を築いたと思われる開発分譲型の不動産業は、これから大変難しくなると思われます。令和5年の出生数は80万人を切っております。2052年には人口は1億人になるという事ですがこれを単純に計算しますと155年後には日本人は零ということです。岸田総理、異次元の対策はどうなっていますか。</p>
島原	<p>他地域と比較しても仕方がないが、島原には工場も商業施設も公共施設も、今後の進出予定は話を聞かない。</p> <p>現在、建設中の諫早ICまでの地域高規格道路もプラス面よりマイナス面が大きいのではないかと思う。</p>
島原	<p>急激な人口減少の対策を離島、島原半島、佐世保北部などで今まで以上に行っていく必要があるかと思います。</p>
壱岐	<p>人口減少、少子高齢化が進む事で、借手、買手が減少。貸手、売手の相談が増加した。</p>
五島	<p>五島地域においては、賃貸物件が不足している為、貸手市場となっている。</p> <p>空家は多数あるが補助金を貰い改修が必要な案件はあるものの、ハードルが高く、思う様には進んでいない。</p>

## 長崎県の不動産市況動向（DI）に関するアンケート調査票

（第9回 令和5年12月実施）

◆問1：最も取扱件数の多い所をA欄から1つ選択のうえ地区名の数字に○を付けて下さい。

※鉛筆での記入は回収時に文字が読み取りづらいため、ボールペン又はサインペン等でご記入願います。

地区名	A欄
①長崎	長崎市・長与町・時津町
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	佐世保市・平戸市・松浦市・西海市・波佐見町・川棚町・東彼杵町・佐々町
③諫早	諫早市
④大村	大村市
⑤島原	島原市・雲仙市・南島原市
⑥壱岐・対馬・五島	五島市・壱岐市・対馬市・新上五島町・小値賀町

※ご回答者様の所属支部、商号をご記入ください

所属支部	商号

以下の質問は、問1で回答された市区町（A欄）の状況について、日々の業務で感じる相場観にてご回答下さい。 なお、業務上取り扱いがない項目については不明を選択してください。

◆問2：現在（令和5年10月1日）の土地価格及び賃料の動向について、1年前（令和4年10月1日）と比較してどのように感じておられますか。

- |            |     |      |     |     |
|------------|-----|------|-----|-----|
| 住宅地（平坦地）価格 | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅地（斜面地）価格 | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 商業地価格      | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 中古マンション価格  | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅賃料       | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 店舗・事務所賃料   | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |

◆問3：1年後（令和6年10月1日）の土地価格及び賃料の動向は、現在（令和5年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

- |            |     |      |     |     |
|------------|-----|------|-----|-----|
| 住宅地（平坦地）価格 | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅地（斜面地）価格 | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 商業地価格      | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 中古マンション価格  | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅賃料       | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 店舗・事務所賃料   | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |

→次ページへ続く

◆問4：現在（令和5年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、1年前（令和4年10月1日）と比較してどうなっていますか。

住宅地および戸建住宅取引——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明  
商業地および投資物件取引——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明  
分譲地またはマンション開発——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明

◆問5：1年後（令和6年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、現在（令和5年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

住宅地および戸建住宅取引——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明  
商業地および投資物件取引——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明  
分譲地またはマンション開発——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明

◆問6：築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り（＝全室入居を前提とした年間賃料総収入÷物件成約価格）は平均何%位でしょうか。

① \_\_\_\_\_%（小数点以下第1位までの表記でお願いいたします。例8.5%） ②不明

◆問7：築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率は平均何%位でしょうか。

① \_\_\_\_\_%（小数点以下第1位までの表記でお願いいたします。例10.0%） ②不明

◆問8：調査結果の冊子（インターネットでも公表）に調査協力業者名の一覧を掲載しておりますが、貴社の社名の掲載を希望されますか。

①希望する ②希望しない

◆問9：自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

例：長崎駅前再開発の効果、観光客の増減、人口減少の影響・・・等

※自由意見欄にお書き頂いた内容は、匿名にて冊子に掲載させていただきますのでご了承ください。

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。ご回答内容は集計データに反映させていただきますが、個々の会社様のご回答内容を公表するものではありません。ご回答頂いた業者様には集計データの冊子（自由意見欄を含む）を長崎県不動産鑑定士協会より送付いたします。